

平成26年度事業報告

社会福祉法人 神聖会

目 次

本部及び共通事項	5
1 理事会及び評議員会開催内容	5
2 補助金及び助成金・寄付関係	5
3 各施設の人事関係	6
広報委員会	7
衛生委員会	7
研修委員会	8
特別養護老人ホーム菊華園	11
1 入退所状況（既存）	11
2 実績（既存）	12
3 入居者の状況（既存）	13
特別養護老人ホーム菊華園（ユニット型）	14
1 入退所状況（ユニット）	14
2 実績（ユニット）	15
3 入居者の状況（ユニット）	16
4 入居者の状況（既存・ユニット）	17
5 栄養課	21
菊華園ショートステイサービス	24
1 実績	24
菊華園デイサービスセンター	26
1 個別通所介護計画・個別介護予防支援計画	26
2 個別支援会議	26
3 サービス実施状況	26
菊華園居宅介護支援センター	30
1 登録者数の推移について	30
2 新規及び廃止登録者について	30
3 介護（予防）給付実績について	31
4 要介護区分内訳	32
5 利用サービスについて	33
6 介護認定調査について	34
7 総括	34
在宅介護支援センター菊華園	35
1 実施目標	35
2 実施内容	35
3 年間実績報告	37
Ⅰ 年間相談	37
Ⅱ 申請代行件数	40
Ⅲ その他 独自活動の状況	40
ケアハウス菊華園	42
運営及び全体について	42
（表１）月別入居状況	42

（表2）地域別入居者状況.....	42
（表3）退去状況.....	43
（表4）年齢別入居者状況.....	43
（表5）在宅福祉サービス利用状況	43
（表6）要介護認定状況.....	43
（表7）ケアサービス利用人数(送迎)	44
（表8）行事実績状況.....	44
（表9）クラブ活動実施状況	45
（表10）年間入院診療科別延人数	45
夢の庄デイサービスセンター	46
1 利用状況	46
2 介護度別利用実人数.....	47
3 新規・廃止者数.....	48
4 廃止理由	48
5 地域別利用者率.....	48
6 入浴	49
7 食事	49
8 年間行事	50
夢の庄ショートステイサービス.....	51
1 利用状況	51
2 介護度	52
3 新規・廃止者の一覧.....	53
4 地域別集計	54
5 委員会活動	54
6 年間行事について.....	57
7 研修	58
夢の庄居宅介護支援センター	59
1 登録者と請求者.....	59
2 新規・廃止者の一覧.....	59
3 要介護度別利用者.....	59
4 市町村別登録者数.....	60
5 事業者別利用者数一覧（上段/数：下段/%）	60
特別養護老人ホームアンスリール	61
1 入退所状況	61
2 実績.....	61
3 入居者の状況	62
4 栄養課	68
5 個別機能訓練	70
アンスリールショートステイサービス	73
1 実績.....	73
アンスリール居宅介護支援センター	74
1 登録者数の推移について	74

2	新規登録者について.....	74
3	登録廃止者について.....	75
4	介護（予防）給付実績について.....	75
6	利用サービスについて.....	77
7	介護認定調査について.....	78
	アンスリール保育園.....	79
1	利用実績について.....	79
2	年間行事.....	79

本部及び共通事項

1 理事会及び評議員会開催内容

(1) 理事会 定数6名

開催日	出席者数	主な議題内容	備考
H26.5.26	6名	平成25年度事業報告 平成25年度各拠点区分決算の認定	106回
H26.11.14	6名	京葉銀行からの運営資金の借り入れについて	107回
H27.3.26	6名	平成26年度各拠点区分第一次補正予算案 平成27年度事業計画(案) 平成27年度各拠点区分予算案 社会福祉法人神聖会経理規程の一部改正について 社会福祉法人神聖会給与規程の一部改正について 特別養護老人ホーム 入所に係る規程について	108回

(2) 評議員会 定数13名

開催日	出席者数	主な議題内容	備考
H26.5.26	9名	平成25年度事業報告 平成25年度各拠点区分決算の認定	72回
H27.3.25	9名	平成26年度各拠点区分第一次補正予算案 平成27年度事業計画(案) 平成27年度各拠点区分予算案 社会福祉法人神聖会経理規程の一部改正について 社会福祉法人神聖会給与規程の一部改正について 特別養護老人ホーム 入所に係る規程について	73回

2 補助金及び助成金・寄付関係

国及び県

(1) 民間社会福祉施設整備資金借入金補助金・利子補給金	4,899,742 円
(2) 民間老人福祉施設職員設置費補助金	2,079,770 円
(3) 軽費老人ホームサービス提供費補助金	21,793,000 円
(4) 両立支援等助成金(設置費)	2,111,000 円

個人

(5) 門井孝一様	132,363 円
-----------	-----------

3 各施設の人事関係

施設及び事業所	職 種	退職		採用		H27.3.31 在籍	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
特別養護老人ホーム菊華園	介護職員	2	2	2	2	13	18
	看護職員及びPT	1	1	1	2	4	3
	その他	0	0	0	3	6	8
特別養護老人ホーム菊華園（ユニット型）	介護職員	2	3	1	3	8	17
	その他	0	0	0	0	0	0
菊華園デイサービスセンター	介護職員	0	1	2	1	6	8
	看護職員及びPT	0	0	1	0	2	2
	その他	0	0	0	1	0	4
菊華園居宅介護支援センター	ケアマネジャー	0	0	0	0	4	0
在宅介護支援センター菊華園	相談員	0	0	0	0	1	0
ケアハウス菊華園	介護職員	0	0	0	1	2	1
	その他	0	0	0	0	2	0
夢の庄デイサービスセンター	介護職員	0	0	0	0	3	3
	看護職員	0	0	0	0	1	0
	その他	0	0	0	0	4	3
夢の庄ショートステイサービス	介護職員	2	5	6	6	9	8
	看護職員	0	0	0	0	2	0
	その他	0	1	0	1	1	6
夢の庄居宅介護支援センター	ケアマネジャー	0	0	0	0	2	0
特別養護老人ホームアンスリール	介護職員	1	2	13	9	26	14
	看護職員及びPT	0	2	2	3	2	3
	その他	0	0	1	0	4	0
	保育士	0	1	0	1	2	3
アンスリール居宅介護支援センター	ケアマネジャー	0	0	0	0	1	0
合 計		8	18	29	33	105	101

※常勤から非常勤、非常勤から常勤への変更、施設及び事業所間の移動等は退職、採用に含めず。

職員永年勤続10年表彰者 （6名）田中健太、田中由美子、雨宮信子、岡田美穂、堀内京子、藤崎一美

広報委員会

広報誌（菊の里から）

発行日	第33号 H26.7.1		第34号 H27.1.1
制作部数	1400部		1400部
紙面内容	1面	アンスリールOPEN	カビーがやってきた
	2面	居室名が楽器のワケ	はしご乗り/永年勤続
	3面	駄菓子屋オープン!!	スイカ・ゴーヤ・トマト
	4面	買い物ツアーが外食ツアーに	交流深める家族会
	5面	「もっと春らしくならない？」の一言/成田山	アンスリールの十月はイベント大盛りです
	6面	会計報告	おやつイベント好評開催中
	7面	楽しみはチーズつまみに飲むお酒/熱中症	お腹も満足、心も満足/素敵な贈り物
	8面	夢の庄 ボランティア&花見	夢の庄 運動会の秋だ
配布先	市役所	100部	100部
	家族	400部	400部
	菊華園	400部	400部
	夢の庄	300部	300部
	アンス	200部	200部

衛生委員会

(1) 健康診断

菊華園		夢の庄		アンスリール	
実施日	実施人数	実施日	実施人数	実施日	実施人数
H26.5.28	102	H26.7.29	40	H26.7.21	52
H26.11.10	40	H27.3.11	9	H27.1.9	27

(2) インフルエンザ予防接種

	菊華園全体	夢の庄全体	アンスリール全体
実施人数	107	39	53

研修委員会

(1) 外部研修 菊華園

研修名	実施月日	対象者	参加人数
E 式合同考課者研修会	4/18	主任	3
安全運転管理者法定講習会	5/9	管理者	1
研修委員会	5/13		1
ケアコンサルティング	6/13,7/10,9/19	看護師	1
養護部会ケアハウス・軽費部会合同、市町村高齢者担当並びに地域包括支援センター職員合同研修会	6/23	施設長	1
給食施設管理者従事者研修会	6/27	管理栄養士	1
福祉施設会計研修（中級編）	7/17,1/18～1/20	事務員	1
難病患者を対象とする医療・介護従事者監修会	8/8	在支職員	2
フィジカル・アセスメント研修	8/21	看護師	1
更新研修	8/23.30,9/1.27,10/21.31,11/8.18	介護支援専門員	1
身体拘束廃止研修（基礎課程）	8/29	介護職員	1
労務管理講習会	9/16	事務員	1
セミナー聴講	9/19	管理栄養士	1
相談員研修	10/2	生活相談員	1
ユニットリーダー研修	10/8.10,1/19～23,2/19	介護職員	1
福祉大臣活用セミナー	10/22	事務員	1
転倒・転落予防セミナー	10/29	介護職員	2
癒やしのリンパ研修	11/6	介護職員	2
社会福祉施設等における感染症予防対策研修会	11/13	介護職員	2
介護職のための医学知識研修	11/17	介護職員	2
居宅介護支援専門員現任研修	11/18	介護支援専門員	2
デイサービス協会研修会	11/19	介護職員	1
社会福祉施設等における感染症等に関する研修会	11/20	看護師	1
病院・福祉施設等給食従事者研修会	11/28	管理栄養士	1
成年後見人制度の実践研修	12/3	生活相談員	1
介護職のための病気と薬の基礎講座	12/12	介護職員	1
施設長・介護保険担当者研修会	12/19	施設長	1
認定調査員現任研修会	2/5	介護支援専門員	4
防火管理者等研修会	2/6	介護職員	1
介護職員研修会	3/11	介護職員	1
施設長・介護保険事務担当者研修会	3/19	施設長	1

(2) 外部研修 アンスリール

研修名	実施月日	対象者	参加人数
E 式合同考課者研修会	4/18	主任	3
認定調査員新規研修会	5/15	生活相談員	1
実務研修委員会（第1回給食）	5/27	管理栄養士	1
身体拘束廃止研修（専門課程）	6/10.11	介護職員	1
新規採用職員合同研修会	6/19	介護職員	2
実務研修委員会（第1回給食）	6/23	管理栄養士	1
身体拘束廃止研修（基礎課程）	6/27	介護職員	1
専門課程研修Ⅱ	6/28,7/31	介護支援専門員	1
栄養（給食）職員研修	8/19	管理栄養士	1
セミナー聴講	9/19	管理栄養士	1
ユニットリーダー研修	10/8.10,12/15～19,2/19	介護職員	1
褥瘡ケアフォーラム	10/13	介護職員	3
社会福祉施設等における感染症予防対策研修会	11/13	介護職員	2
社会福祉施設等における感染症等に関する研修会	11/20	介護職員	1
病院・福祉施設等給食従事者研修会	11/28	管理栄養士	1
ユニットケア部会研修	12/9	介護職員	2
音楽療法基礎研修	1/23	生活相談員	1
認定調査員現任研修会	2/5	介護支援専門員	2
防火管理者等研修会	2/6	介護職員	1
身体拘束廃止研修（専門課程）	3/3.4	介護職員	1
施設長・介護保険事務担当者研修会	3/19	係長	1

(2) 外部研修 夢の庄

研修名	実施年月日	対象者	参加人数
認定調査員新規研修	4/16	介護支援専門員	1
E式合同考課者研修会	4/18	指導職員	1
フードショー2014	6/18	管理栄養士・調理師	2
ソフト食講義&調理実習	8/19	管理栄養士	1
千葉県キャラバン・メイト養成研修	8/27	指導職員	1
相談援助技術（利用者および家族に対する相談援助技術の向上） 1	9/24	介護支援専門員・相談員	3
国際福祉機器展	10/2	介護支援専門員・相談員	2
生活相談員のリスクを法律的に考える	10/2	相談員	1
アンガーマネジメント研修	10/2	指導職員	1
認知症の生活障害へのアプローチ	11/4	介護職員	2
頭と身体で覚える排泄ケア実践研修	11/14	介護職員	1
介護職のための医学知識研修	11/17	介護職員	1
介護支援専門員現任者研修	11/18	介護支援専門員	2
相談援助技術（利用者および家族に対する相談援助技術の向上） 2	11/26	介護支援専門員・相談員	3
認知症の方々を地域で見守るために	11/28.29	介護職員	2
相談援助技術（利用者および家族に対する相談援助技術の向上） 3	12/10	介護支援専門員・相談員	3
介護職のための病気と薬の基礎講座	12/12	介護職員	1
平成27年度介護報酬改定の情勢	12/19	管理職	1
千葉県キャラバン・メイト養成研修	1/28	相談員	1
「高齢者に多い病気の理解」と「笑い筋体操」	1/31	介護職員	1
香取地域キャリアパス支援研修会	1/31	介護職員	1
千葉県デイサービスセンター協会機能強化に向けた研修	2/16	相談員	1
介護保険制度と介護報酬改定のポイント	2/25	介護支援専門員	1

特別養護老人ホーム菊華園

1 入退所状況（既存）

（表1）月別入退所者数（既存）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入 所	1	0	1	3	0	0	2	0	2	0	1	1	11
退 所	2	1	1	0	0	2	1	0	0	1	1	0	9

（表2）介護度別入所者数（既存）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
要介護3	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	5
要介護4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
要介護5	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2

※新規入所者の介護度4・5の割合は45%

（表3）退所理由別内訳（既存）

退所理由	医療機関入院	死亡
人数	4	5

2 実績（既存）

（表1）月別在所者数（既存）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平 均
46	45	45	48	48	46	47	47	49	48	48	49	47.2

（表2）月別在所者延数（既存）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1415	1403	1357	1447	1488	1430	1452	1410	1496	1509	1368	1519	17294

（表3）月別入院日数（既存）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
151	166	70	38	117	88	69	87	75	101	112	69	1143	95.3

（表4）月別外泊日数（入院以外）（既存）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
4	4	4	5	3	4	4	4	3	5	2	0	42	3.5

（表5）月別利用者延数（既存）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1260	1233	1283	1404	1368	1338	1379	1319	1418	1403	1254	1450	16109

3 入居者の状況（既存）

（表1）保険者別人数（既存）

保険者	白井市	印西市	成田市	船橋市	鎌ヶ谷市	栄町	神栖市	茨木市	合 計
人 数	40	2	1	2	1	1	1	1	49
比率（％）	82%	4%	2%	4%	2%	2%	2%	2%	100%

（表2）平均介護度（既存）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平 均
4.00	4.02	4.02	3.96	3.98	3.98	3.98	3.98	4.02	4.06	4.00	4.02	4.00

（表3）介護度別人数（既存）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	構成比
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.2%
要介護2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3	3	5.4%
要介護3	13	12	12	15	16	15	16	15	15	13	13	12	30.0%
要介護4	7	7	7	7	7	7	7	8	8	9	9	11	15.0%
要介護5	22	22	22	22	22	21	21	21	23	23	22	22	47.4%

（表4）年齢別の状況（既存）

3月31日現在

年齢	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合 計
男 性	0	0	2	2	0	1	2	1	0	8
女 性	0	2	2	4	13	8	8	4	0	41
合 計	0	2	4	6	13	9	10	5	0	49

特別養護老人ホーム菊華園（ユニット型）

1 入退所状況（ユニット）

（表1）月別入退所者数（ユニット型）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入 所	0	0	1	2	1	1	1	2	0	1	0	0	9
退 所	1	2	2	0	1	3	0	0	0	1	2	1	13

（表2）介護度別入所者数（ユニット）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	0	0	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	5
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
要介護 5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

※新規入所者の介護度4・5の割合は44%

（表3）退所理由別内訳（ユニット）

退所理由	居宅	医療機関入院	死亡
人数	2	5	6

2 実績（ユニット）

（表1）月別在所者数（ユニット）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平 均
29	27	26	28	28	26	27	29	29	29	28	26	27.7

（表2）月別在所者延数（ユニット）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
887	842	804	867	847	823	837	850	899	908	811	829	10204

（表3）月別入院日数（ユニット）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
137	109	78	53	125	42	21	26	23	2	37	35	688	57.3

（表4）月別外泊日数（入院以外）（ユニット）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
6	13	21	15	4	7	2	5	2	8	2	2	87	7.3

（表5）月別利用者延数（ユニット）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
744	720	705	799	718	774	814	819	874	898	772	792	9429

3 入居者の状況（ユニット）

（表1）保険者別人数（ユニット）

3月31日現在

保険者	白井市	印西市	柏市	成田市	鎌ヶ谷市	浦安市	合 計
人 数	20	1	2	1	1	1	26
構成比	76%	4%	8%	4%	4%	4%	100%

（表2）平均介護度（ユニット）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平 均
全 体	3.83	3.78	3.77	3.68	3.74	3.65	3.63	3.65	3.65	3.65	3.64	3.57	3.68

（表3）介護度別人数（ユニット）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	構成比
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要介護2	2	2	2	3	4	4	4	4	4	4	4	4	12.4%
要介護3	9	9	9	10	10	8	9	9	9	9	9	8	32.5%
要介護4	10	9	8	8	7	7	7	9	9	9	8	9	30.1%
要介護5	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	5	25.0%

（表4）年齢別の状況 （ユニット）

3月31日現在

年齢	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合 計
男 性	0	0	2	1	3	3	0	0	0	9
女 性	0	0	0	2	1	6	5	2	1	17
合 計	0	0	2	3	4	9	5	2	1	26

4 入居者の状況（既存・ユニット）

（表1）平均年齢

（既存）

男 性	女 性	全体平均
83.13 歳	85.02 歳	84.71 歳

（ユニット）

男 性	女 性	全体平均
80.56 歳	88.88 歳	86.00 歳

（表2）日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度

3月在籍者

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男性	0	0	1	8	3	1	2	2	17
女性	0	0	1	11	5	9	21	11	58
合計	0	0	2	19	8	10	23	13	75

障害高齢者の日常生活自立度

3月在籍者

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男性	0	0	0	2	3	4	4	1	3	17
女性	0	0	0	0	16	8	27	1	6	58
合計	0	0	0	2	19	12	31	2	9	75

（表3）入所者介護状況

① 移動	従来型			ユニット型		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
車椅子	6	23	29	6	7	13
寝たきり	1	7	8	0	0	0
歩 行	1	5	6	3	5	8
杖歩行	0	2	2	0	2	2
手引き歩行	0	4	4	0	3	3
合 計	8	41	49	9	17	26

② 食事	従来型			ユニット型		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
自 立	4	2	6	8	9	17
一部介助	2	21	23	1	6	7
全介助	1	11	12	0	2	2
胃婁経管	1	7	8	0	0	0
合 計	8	41	49	9	17	26

③ 排泄ケア	従来型			ユニット型		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
自 立	2	2	4	4	3	7
トイレ誘導	1	11	12	3	8	11
オムツ交換	5	28	33	2	6	8
合 計	8	41	49	9	17	26

④ 入 浴	従来型			ユニット型		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
ストレッチャー	4	21	25	0	2	2
シャワーチェアー	2	14	16	7	12	19
手引き・見守り	2	6	8	2	3	5
合 計	8	41	49	9	17	26

（表４）疾病別入院件数

肺炎	発熱	心不全	尿路感染	脳梗塞	癌	骨折	脱水	胃瘻交換	検査目的	その他
29	1	3	6	2	2	4	1	11	5	5

（表５）診療科目別外来受診者（延人数）

	内科	脳外科	外科	整形外科	皮膚科	眼科	婦人科	耳鼻科	精神科	泌尿器科	救急外来
北総白井病院	97	9	46	15	31	0	0	7	0	11	3
白井聖仁会病院	33	0	9	22	0	6	5	0	0	2	3
八千代病院	0	0	0	0	0	0	0	0	84	0	0
セコメディック病院	25	35	1	11	0	9	0	0	0	0	2
鎌ヶ谷総合病院	7	0	0	3	0	0	0	0	0	23	2
日本医科大学病院	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
その他	28	3	0	0	0	0	2	0	26	1	2
合 計	190	47	56	51	31	16	7	7	111	37	12

(表6) 年間行事表 (ショート利用者含む)

実施月	行事名	既存参加人数	ユニット参加延人数	実施月	行事名	既存参加人数	ユニット参加延人数
4月	お花見	12	8	12月	忘年会	—	28
5月	日帰り旅行	4	11		餅つき	34	6
6月	日帰り旅行	—	4		クリスマス	10	—
7月	納涼祭	48	22	1月	初詣	7	—
8月	花火大会	25	8		新年会	—	29
9月	敬老会	48	22	2月	節分	40	26
10月	運動会	34	6				
11月	文化祭	18	—	3月	ひな祭り	—	中止
	食事会	—	29		上映会	26	—

(表7) ボランティア延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
ドライヤー	4	4	3	3	2	4	4	3	4	4	4	3	42
傾 聴	0	2	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	8
カラオケ	9	10	10	9	10	9	8	10	11	12	12	0	110
合 計	13	16	13	14	12	15	12	13	15	18	16	3	160

(表8) レクリエーション参加人数

	日 舞	フラダンス	カラオケ	音楽鑑賞会	風船バレー	その他	合 計
4月	25	0	22	19	8	0	74
5月	14	0	20	11	6	15	66
6月	19	9	17	0	9	0	54
7月	18	0	16	6	7	16	63
8月	15	0	16	0	10	7	48
9月	22	16	23	0	6	0	67
10月	16	0	22	0	5	18	61
11月	24	0	20	11	9	0	64
12月	19	13	19	27	7	7	92
1月	17	0	22	0	8	16	63
2月	15	0	28	0	7	0	50
3月	0	0	0	0	6	0	6
合 計	204	38	225	74	88	79	708

5 栄養課

(1) 栄養ケアマネジメント

栄養ケア計画を3ヶ月ごとに見直し、更新・変更、ご家族からサインを頂いた。施設サービス計画、個別機能訓計画と並行して更新できるよう班ごとにサイクルをつくり、アセスメント、カンファレンス等行った。

厚生労働省の示している、低栄養状態のリスク分類に基づき入居者を各リスク（低・中・高）に振り分け、中・高リスク者に対して栄養補助食品の付加などを積極的に行った。毎月各リスクの人数と、入院者数から入院率を割り出した。

(表1) 各リスク人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
低	38	34	35	36	35	36	34	35	36	37	37	37	430
中	30	28	27	31	34	31	33	36	37	33	33	31	384
高	7	10	9	9	7	5	7	5	5	7	5	7	83
合計	75	72	71	76	76	72	74	76	78	77	75	75	897

(表2) 入院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
低	2	1	1	1	1	1	0	1	1	3	2	0	14
中	6	4	1	4	8	4	1	3	1	1	1	2	36
高	2	2	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	11
合計	10	7	3	6	10	6	1	4	2	5	4	3	61

(表3) 入院率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
低	5%	3%	3%	3%	3%	3%	0%	3%	3%	8%	5%	0%	3%
中	20%	14%	4%	13%	24%	13%	3%	8%	3%	3%	3%	6%	9%
高	29%	20%	11%	11%	14%	20%	0%	0%	0%	14%	20%	14%	13%
平均	13%	10%	4%	8%	13%	8%	1%	5%	3%	6%	5%	4%	7%

月ごとの各リスク内をみると高リスク者における入院率が高い（表3）が、人数で見ると年間で一番入院者数が多いのは、中リスク者となっている（表2）。高リスク者への介入は継続して必要ではあるが、低リスク者・中リスク者についても、より日頃からの注意が必要なが分かる。

（2） 凍結含浸法

10月に岩橋が広島市福山にて凍結含浸法セミナーに参加し、認定講師を取得した。それまでの調理工程（①納品 ②加熱・下処理・含浸 ③冷凍 ④失活・調理）を変更し、1日納品を早め②の前に冷凍の工程を追加した。また、肉魚についてはテンダライズ処理を行うようにした。その結果、食材の中心まで凍結含浸法による効果が発揮されていることが多くなった。新しくじゃが芋の含浸調理を開始した。

（3） 給食会議

新しい提案や、今までのルールの見直しを行った。デイサービスでは冬季の牛乳は冷たいまま提供されていたが、現場より温かいものを出したいとの意見があり提供を開始し、好評だった。

毎回、凍結含浸・ソフト食1及び2の試食を行い、意見をだし、見た目と味、固さの向上を図った。

（4） 非常食

毎月在庫確認・補充を行い、常に3日分の食糧を備蓄している。運営会議、介護職員会議などで非常食の場所を公表し、厨房職員が不在の夜間に災害が発生しても食事提供が可能であるようにした。

（5） 配食

利用者様からのコメントなどを頂き、喜ばれるメニューを多く提供することができた。

（表4）月別配食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食数	726	673	725	779	704	678	772	593	582	578	577	676	8063
日数	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	22	244
平均	35	34	35	35	34	34	35	33	31	30	30	31	33.1

(表5) 過去9年間の食数

年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
年間食数	7164	7923	7666	7724	8336	8765	9121	9262	8063

食数については、平成 25 年度より年間で 1199 食減少した。お粥の希望率も増え、利用者の高齢化が伺える。

(6) 行事

月一回の行事食は季節のものを取り入れて提供することができた。昨年度と異なる料理を取り入れ、より見たくて食欲の湧く献立にした。

(7) 各施設

① ケアハウス

栄養ケアマネジメント対象者は上がってこなかった。2 か月に一度の懇談会にて食事の形態・嗜好・リクエストを聞き取り、要望に答えたメニューの提供を随時行った。

② デイサービス

月一の手作りおやつイベントでは、事前にデイサービス職員と相談し、おやつ食材費内で実施できるようにベストフードと相談した。

月一弁当の日についてはベストフードサービスの人員不足により 2 か月に 1 回程度となってしまった。

③ ショートステイ

デイサービスとの併用が多かったため、各部署と連絡を取り合って利用者様にあった食事の提供につなげた。

(8) まとめ

食事面から入院者増加への対策ができないかと、中・高リスク者や食事が摂れていない入居者に対しての介入を行った。年間の入院者のうち、中リスク者の割合が一番高かった。高リスク者だけでなく、低・中リスク者においても日頃からの摂食嚥下状態や、体調変化の観察が重要であることがわかった。栄養ケアマネジメントを実施していく中で入院者を減らすには、より積極的な介入が求められる。

凍結含浸法は加算開始 3 年目となったが、新しくテンダライズ処理を加え、質の向上を図った。

ケアハウス・デイサービス・ショートステイにおいては日々のラウンドや懇談会（ケアハウス）などで入居者・利用者の意見を聞き、調理・メニューに反映させた。

菊華園ショートステイサービス

1 実績

(表1) 介護度別利用者延数

	要支援1	要支援2	計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	合計
4月	0	0	0	48	65	317	168	118	716	716
5月	0	12	12	50	76	398	187	108	819	831
6月	0	0	0	80	59	392	140	94	765	765
7月	0	0	0	54	52	296	150	100	652	652
8月	0	2	2	46	68	256	163	134	667	669
9月	0	0	0	47	80	235	179	106	647	647
10月	0	0	0	44	111	216	192	85	648	648
11月	0	0	0	32	58	271	237	74	672	672
12月	0	0	0	14	66	232	307	48	667	667
1月	0	0	0	11	93	227	231	49	611	611
2月	0	0	0	11	58	190	237	44	540	540
3月	0	0	0	11	72	200	237	117	637	637
合計	0	14	14	448	858	3230	2428	1077	8041	8055

(表2) 介護度別利用者実人数

	要支援1	要支援2	計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	合計
4月	0	0	0	4	6	24	14	8	56	56
5月	0	1	1	6	11	24	15	7	63	64
6月	0	1	1	5	5	26	15	7	58	59
7月	0	0	0	6	5	21	12	9	53	53
8月	0	0	0	4	6	17	11	11	49	49
9月	0	0	0	4	7	13	10	8	42	42
10月	0	0	0	5	10	15	13	6	49	49
11月	0	0	0	3	5	18	15	5	46	46
12月	0	0	0	2	5	12	18	5	42	42
1月	0	0	0	2	7	16	16	4	45	45
2月	0	0	0	2	4	9	15	5	35	35
3月	0	0	0	2	5	10	14	7	38	38
合計	0	2	2	45	76	205	168	82	576	578

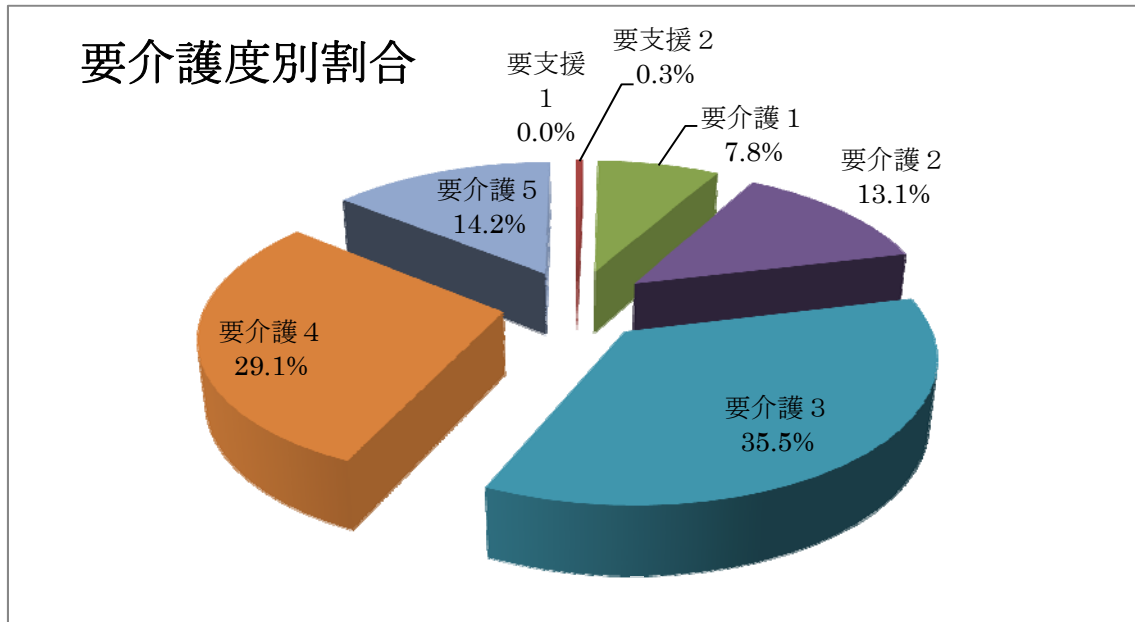
(表3) 平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	3.28	3.09	3.24	3.24	3.38	3.26	3.10	3.30	3.45	3.28	3.48	3.50	3.03

(表4) 平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均入所者数	23.9	26.8	25.5	21.0	21.6	21.6	20.9	22.4	21.5	19.7	19.3	20.5	22.1
ベット合計稼働率	91%	90%	92%	92%	89%	92%	92%	94%	95%	94%	92%	93%	92%

(グラフ1) 要介護度別利用率



(表5) 送迎別利用回数

	施設送迎				家族送迎			
	入所	退所	合計	平均	入所	退所	合計	平均
4月	61	66	127	4.23	19	20	39	1.30
5月	70	65	135	4.35	12	12	24	0.77
6月	62	62	124	4.13	12	16	28	0.93
7月	63	65	128	4.12	12	14	26	0.83
8月	63	65	128	4.12	16	13	29	0.93
9月	58	57	115	3.83	12	10	22	0.73
10月	70	68	138	4.45	15	12	27	0.87
11月	59	62	121	4.03	16	17	33	1.10
12月	56	56	112	3.61	12	8	20	0.64
1月	56	52	108	3.48	13	13	26	0.83
2月	35	34	69	2.46	3	5	8	0.28
3月	44	40	84	2.71	9	8	17	0.54
合計	697	692	1389	3.80	151	148	299	0.82

菊華園デイサービスセンター

要介護状態に関わらず、利用者一人一人の状態に合わせ、その方が住み慣れた生活環境の中で、自立した日常生活が送れるように、必要な機能訓練をレクリエーションに組み込み、提供を実施した。その結果、利用者自身から、前回の続きをやりたいなどの希望も出てくるようになった。

また、利用者一人一人への継続的な関わりを心がけ、「ここに来るのが楽しみ」とのお言葉を頂戴することができた。利用者自身の社会的孤立感の解消につながったと思える。

ご家族とは送迎時や連絡票を通じて、細やかな対応を心がけるとともに、急なご依頼にも対応し、介護負担軽減に協力した。

1 個別通所介護計画・個別介護予防支援計画

居宅サービス計画書に沿った形で計画し、利用者およびご家族に同意を得て実施した。

2 個別支援会議

定例会議および日々の業務の中で、実施状況の確認を実施。必要に応じて見直しを行った。利用者の著しい状態変化が生じた際には担当の介護支援専門員に報告や相談を行い、現状に合わせた支援が実施できるよう努めた。

3 サービス実施状況

(1) 実績

(表1) 年間利用状況表

	実働日数	実人数 (人)	延利用者 数 (人)	1日平均 (人)	要支援者 (人)	要介護者 (人)	新規(人)	廃止(人)
4月	30日	92	734	24.5	5	87	3	3
5月	31日	93	816	26.3	6	87	5	5
6月	30日	92	782	26.1	6	86	1	7
7月	31日	84	772	24.9	5	79	1	3
8月	31日	91	793	25.6	6	85	4	3
9月	30日	88	775	25.8	6	82	3	1
10月	31日	93	809	26.1	7	86	9	2
11月	30日	96	791	26.4	6	90	3	2
12月	29日	94	792	27.3	5	89	1	4
1月	28日	92	739	26.4	3	89	3	4
2月	28日	92	732	26.1	4	88	3	3
3月	31日	88	811	26.2	5	83	2	2
合 計	360日	1095	9346	26.0	64	1031	38	39

(表2) 介護度別利用実人数

	要支援1	要支援2	計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	合計
4月	1	4	5	23	22	20	14	8	87	92
5月	1	5	6	25	22	20	13	7	87	93
6月	1	5	6	26	19	20	14	7	86	92
7月	1	4	5	26	18	16	13	6	79	84
8月	1	5	6	27	20	18	13	7	85	91
9月	1	5	6	28	19	17	11	7	82	88
10月	1	6	7	28	21	17	13	7	86	93
11月	2	4	6	28	24	19	14	5	90	96
12月	2	3	5	25	27	18	15	4	89	94
1月	2	1	3	28	26	15	16	4	89	92
2月	2	2	4	28	23	17	15	5	88	92
3月	3	2	5	26	23	15	13	6	83	88
合計	18	46	64	318	264	212	164	73	1031	1095

(表3) 介護度別延利用数

	要支援1	要支援2	計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	合計
4月	4	28	32	204	188	136	123	51	702	734
5月	5	37	42	211	221	160	128	54	774	816
6月	4	35	39	213	188	161	129	52	743	782
7月	5	32	37	229	183	164	112	47	735	772
8月	4	30	34	220	193	172	135	39	759	793
9月	4	32	36	216	190	193	94	46	739	775
10月	4	31	35	224	186	192	126	46	774	809
11月	8	20	28	224	196	173	141	29	763	791
12月	8	18	26	218	225	166	135	22	766	792
1月	8	4	12	236	219	117	133	22	727	739
2月	7	7	14	229	177	148	133	31	718	732
3月	13	8	21	269	210	146	126	39	790	811
合計	74	282	356	2693	2376	1928	1515	478	8990	9346

4月に同一法人の新規施設であるアンスリールが開業したことにより入所へ移行した利用者が増えたことに加え、ロングショートやショートステイ利用開始となった方、長期療養のため利用がなくなった方もいたため、登録人数、利用実人数も低下し減収となった。介護度3以上の中重度者は全体の41%にのぼっている。

（２） レクリエーション

運動系、作業系、精神機能系の３種を選択していただける選択制を導入し、主体的にレクを楽しんで頂けるような体制にした。希望の多い歩行練習も希望者を募り、毎日実施するようにした。また、外部より絵手紙や書道の講師、アンスリールの河内作業療法士の協力を得て、選べるコンテンツも多種多様となり、利用者より好評を博した。北海道日本ハムファイターズの２軍キャラクターであるカビー君に来園を依頼し、一緒に体操したり写真を撮ったりと、新たな可能性を開拓することでもできた。これらの活動は写真におさめ、進呈することで利用者本人のみならず、ご家族からも喜ばれている。なかには遺影の撮影を依頼されるケースも数件あった。この他にも毎月３日間行うおやつイベントや月１回開催の映画鑑賞会も導入し、利用者にとって非日常的時間を提供できるよう努めた。

それぞれの目的を職員が意識して実施することで、利用者の心身状態の維持や向上につながるよう配慮した。

（３） 入浴

（表４）入浴利用者内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数(人)	734	816	782	772	793	775	809	791	792	739	732	811	778.8
入浴者数(人)	641	679	647	660	675	627	666	621	641	609	618	637	643.4
入浴率(%)	87.3	83.2	82.7	85.5	85.1	80.9	82.3	78.5	80.9	82.4	84.4	78.5	82.6
リフト率(%)	31	31	28	28	25	21	26	26	26	26	23	29	26.7

入浴サービスを利用されない理由は以下の通り。

（在宅での入浴が可能、複数での入浴に抵抗がある、体調不良、単位数の調整、連日の利用で体力がないため）

（４） 食事

（表５）食事提供数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
提供数	734	816	729	772	793	775	801	783	779	728	724	809

提供数にはケアハウス入居者の昼食も含む。

（５） 送迎

受診や家事都合、または延長サービス利用後にご家族が送迎されるケースが数件あったが、ほぼ全員送迎サービスを利用した。同敷地内のため、ケアハウスの利用者については、送迎減算の対象となっている。

（６） 個別機能訓練加算

単位数調整の為、毎月２～３名程度算定が出来ない、または日数を限って算定する方が１～２名存在した以外は、全員算定することが出来た。

(表6) 行事

実施日	行事名	場 所	参加数
4/6～12	お花見ツアー	白井総合公園	78
5/13～15	公園散歩	白井中央公園	77
6/16～20	買い物ツアー	イオン千葉ニュータウン店	31
7/26	納涼会	施設内	26
9/13	敬老会	施設内	28
11/20	文化祭	施設内	28
12/24、25	クリスマス会	施設内	57
1/10～16	初詣	仏法寺	51
2/3、4	節分	施設内	56
3/3、4、5	ひな祭り	施設内	90

菊華園居宅介護支援センター

介護を要する状態になっても、出来る限り在宅で自立した生活を営めるように相談支援業務を行いました。

1 登録者数の推移について

12月と1月で登録数に大きな変化があるが、これは担当職員がアンスリールへ異動した為である。

(表1) 市町村別登録者数

	白井市		印西市		船橋市		鎌ヶ谷市		その他		合 計	
	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防
4月	131	14	6	1	5	0	2	0	2	0	146	15
5月	131	14	6	1	4	0	2	0	1	0	144	15
6月	133	14	6	1	4	0	2	0	1	0	146	15
7月	135	14	6	1	4	0	2	0	2	0	149	15
8月	132	14	6	1	4	0	2	0	2	0	146	15
9月	134	16	4	1	4	0	2	0	2	0	146	17
10月	137	16	4	1	4	1	2	0	2	0	149	18
11月	139	16	3	0	4	1	2	0	3	0	151	17
12月	141	17	3	0	4	1	2	0	3	0	153	18
1月	137	14	4	0	1	2	1	0	3	0	146	16
2月	136	15	5	0	1	2	1	0	3	0	146	17
3月	138	15	5	0	2	2	1	0	4	0	150	17

2 新規及び廃止登録者について

25年度の新規登録者は介護給付27名、予防給付は8名であったが、平成26年度においては介護給付71名、予防給付は12名のケアマネジメントを行った。

増えた要因としては、白井市全体の65歳以上の高齢者人口が平成26年3月末で13,362人であったのに対し、平成27年3月末で14,190人まで増加し、高齢化率が21.4%から22.6%まで跳ね上がった事が考えられる。

今年度の廃止者は入所による廃止が大半を占めているが、これはアンスリール開設に伴うものであるが、平成29年度にかけて白井市で入所施設の整備が進むため、今後も登録者の減少が予測される

(表2-1) 新規及び廃止市町村別登録者(介護)

	白井市		印西市		船橋市		鎌ヶ谷市		その他		合 計	
	新規	廃止	新規	廃止	新規	廃止	新規	廃止	新規	廃止	新規	廃止
4～9月	29	26	0	2	0	2	0	0	1	1	30	31
10～3月	35	31	2	1	2	3	0	1	2	0	41	36
年間合計	64	57	2	3	2	5	0	1	3	1	71	67

(表2-2) 新規及び廃止市町村別登録者(予防)

	白井市		印西市		船橋市		鎌ヶ谷市		その他		合 計	
	新規	廃止	新規	廃止	新規	廃止	新規	廃止	新規	廃止	新規	廃止
4～9月	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4
10～3月	4	5	0	1	2	0	0	0	0	0	6	6
年間合計	10	9	0	1	2	0	0	0	0	0	12	10

(表3) 登録廃止者の内訳

死亡	14	予防	1
入所	23	中止	1
移動	26	入院	1
転居	1	合計	67

3 介護(予防)給付実績について

(表4-1) 市町村別請求件数(介護給付)

	白井市	印西市	船橋市	鎌ヶ谷市	その他	合 計
4月	117	7	5	3	3	135
5月	114	8	4	3	2	131
6月	113	7	4	3	3	130
7月	114	7	4	3	3	131
8月	109	7	4	3	4	127
9月	115	6	4	3	3	131
10月	117	6	4	3	3	133
11月	116	5	4	3	4	132
12月	124	4	5	3	5	141
1月	114	6	3	2	3	128
2月	113	6	3	2	3	127
3月	111	6	3	2	3	125
年間合計	1377	75	47	33	39	1571

(表4-2) 市町村別請求件数(予防給付)

	白井市	印西市	船橋市	鎌ヶ谷市	その他	合 計
4月	12	1	0	0	0	13
5月	13	1	0	0	0	14
6月	12	1	0	0	0	13
7月	11	1	0	0	0	12
8月	12	1	0	0	0	13
9月	11	1	0	0	0	12
10月	13	1	0	0	0	14
11月	11	1	1	0	0	13
12月	14	0	1	0	0	15
1月	9	0	1	0	0	10
2月	9	0	2	0	0	11
3月	10	0	2	0	0	12
年間合計	137	8	7	0	0	152

4 要介護区分内訳

全体数の推移は登録者に比例しているが、今年度は審査基準の厳密化が図られたためか、要介護認定を更新した方の介護度が下がる傾向があった。

それにより提供サービスを減らさなければならないケースはなかった。

(表5-1) 要介護区分別内訳(介護給付)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
4月	35	40	34	15	11	135
5月	32	41	35	13	10	131
6月	34	37	33	15	11	130
7月	37	36	32	15	11	131
8月	37	35	29	15	11	127
9月	39	36	27	16	13	131
10月	42	37	25	17	12	133
11月	43	36	26	18	9	132
12月	43	38	31	20	9	141
1月	41	30	25	22	10	128
2月	38	28	26	24	11	127
3月	37	30	22	21	15	125
年間合計	458	424	345	211	133	1571
平均	38.2	35.3	28.8	17.6	11.1	241.7

(表5-2) 要介護区分別内訳(予防給付)

	要支援1	要支援2	合 計
4月	2	11	13
5月	2	12	14
6月	2	11	13
7月	2	10	12
8月	2	11	13
9月	2	10	12
10月	2	12	14
11月	1	12	13
12月	3	12	15
1月	3	7	10
2月	3	8	11
3月	3	9	12
年間合計	27	125	152
平均	2.25	10.41	12.66

5 利用サービスについて

居宅介護支援センター利用者の平均介護度は2.5であり、在宅で生活する後期高齢者の全国平均の2.2よりやや上回っているが、訪問介護と通所介護を併用しながら生活できる方が多くみられた。

また、そのうち神聖会のサービスを利用された方は(表6-2)の通りである。

(表6-1) サービス別利用人数

	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	福祉用具	短期入所
4月	29	2	9	3	83	16	82	37
5月	28	2	9	3	80	17	82	42
6月	30	2	9	3	78	15	83	41
7月	29	2	9	3	75	15	79	37
8月	30	2	9	4	82	14	81	34
9月	31	3	11	3	80	14	84	34
10月	30	3	9	4	81	16	82	37
11月	29	3	10	4	85	15	83	35
12月	33	3	10	3	84	17	88	38
1月	29	3	13	2	78	15	79	40
2月	26	4	12	2	80	15	77	34
3月	28	3	13	1	74	15	77	34
合計	352	32	123	35	960	184	977	443
平均	29.3	2.7	10.3	2.9	80	15.3	81.4	36.9

(表6-2) 神聖会サービス別人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
菊華園デイ	60	58	55	51	56	56	58	63	64	61	60	54	58.0
菊華園短期	34	38	35	32	28	28	31	30	31	30	23	24	30.3
アンス短期	0	0	2	4	3	5	4	4	4	6	4	3	3.25
合 計	94	96	92	87	87	89	93	97	99	97	87	81	1099

6 介護認定調査について

1ヶ月平均4.7件の認定調査の委託を受けた。

白井市において平成27年度は65歳以上の人口がおよそ1,000人増加する予測が立てられており、それに比例して新規申請者及び更新申請者の増加が見込まれているため、他市町村も含め次年度は調査件数も増えると思われる。

(表7) 市町村別認定調査件数

	白井市	県内他市	県外	合 計
4月	0	1	1	2
5月	6	1	0	6
6月	5	1	1	7
7月	4	0	0	4
8月	0	0	1	1
9月	6	1	1	8
10月	5	1	0	6
11月	0	1	1	2
12月	0	0	1	1
1月	4	2	0	6
2月	4	1	0	5
3月	5	2	0	7
年間合計	39	11	6	56

7 総括

平成25年度の年間介護給付件数は1,988件であったが、平成26年度は1,561件と減少している。その要因としては介護支援専門員の退職によるものと、アンスリール以外にも入所施設が増えそちらへ移行した事が考えられる。

この状況を踏まえ、次年度においては新規利用者の獲得と更なる適切な介護保険サービスの提供が急務である。

在宅介護支援センター菊華園

1 実施目標

平成26年度事業計画に基づき、在宅の要援護高齢者や介護者に対し、在宅介護に関する総合的な相談に応じ、必要により各種保険福祉サービスが総合的に受けられるよう、母体事業との連携及び居宅介護支援事業者等、関係行政機関・サービス実施機関等の便宜を供与し、福祉の向上を図った。そのプロセスとして、連絡調整会議等の役所の会議に参加し、連絡調整を密にして総合的な相談に応じた。

2 実施内容

(1) 一般相談と電話訪問サービスについて

地域包括支援センターや実態調査員、民生委員から相談・訪問依頼のあった要援護高齢者に対し、速やかに訪問を行い課題の解決・改善に向けて支援を行った。

高齢者が集合するイベントに参加する為、保健センターや民生委員との連絡を密にするとともに、相談窓口を設置しいつでも相談が受けられるようにした。

また、気になる高齢者世帯及び独居世帯・日中独居の高齢者に対しては、訪問または電話連絡を継続し「安否確認」「問題の早期発見・ニーズの把握・迅速なサービスの提供」を行ない安心して生活できる環境の維持への活動を実施した。

(2) サービスの適応調整

地域包括支援センターや実態調査員から相談のあった要援護高齢者や、介護者等のニーズを発見し適切な保健福祉サービスを紹介した。また、介護保険申請代行等も積極的に取り組み菊華園居宅介護支援センターも紹介した。予防的視点に立ち、老人会・ふれあい食事会での血圧測定・健康相談等を行い、高齢者の健康への意識形成に努めた。

(3) 在宅介護相談協力員等と運営協議会

各地区のサロンに積極的に参加し民生委員・推進委員と交流会を行った。そこで要援護高齢者について情報交換等も行うことが出来、今後の連携体制についても相談できた。7月と10月に開催された地域包括支援センターの運営協議会に参加した。

前年度に引き続き、個人情報の共有が難しくなる中で、どのように地域での連携体制を確立していくかが大きな課題となっている。

(4) 介護予防教室開催

主 催	開催名称	回 数	参加人数
第一小学校区地区社協	神々廻いきいきサロン	1	18
	法目・上長いきいきサロン	1	6
	下長殿いきいきサロン	1	25
	白井いきいきサロン	1	20
	七次、白井木戸いきいきサロン	1	20
	七次・白井木戸老人会	5	88
	木・河原子いきいきサロン	1	8
	ひな祭り独居食事会	—	—
七次台中学校区地区社協	七次台1.2丁目おしゃべりの会	1	11
	七次台3.4丁目おしゃべりの会	1	17
	七次台健康サロン	12	139
桜台小学校区地区社協	十余ーいきいきサロン	—	—
	桜台地域交流サロン	2	24
	十余ー老人会	1	12
社会福祉協議会	はつらつタイム・健康相談	24	290
	まごころサービスヘルパー講習	1	10
	福祉センターフェスティバル	2	26
	桜台センターフェスティバル	2	20
各地区社協	ふれあい食事会	2	—
	ふるさとまつり	2	42
※ 在宅介護支援センター	介護予防サロン 地域交流サロン	8	86
合 計		69	862

感染性胃腸炎の集団発生により2月～3月の老人会への参加は自粛したが、目標は達成され、地域の福祉の向上にもつながった。地区社協との連携を図り地域の老人会や地区の食事会にも数多く参加した。地域住民との交流を図ると共に、介護予防の必要性及び在宅介護支援センターの活動の周知を行った。また菊華園独自の介護予防サロンを開催することができた（※印）

(5) 介護予防の取り組み

26年度も白井市の施策に合わせ介護予防に積極的に取り組んだ。

各地区で開催されるいきいきサロンや老人会に積極的に参加し、元気に老いるための情報を入れた寸劇や体操・血圧測定を行っている。また、毎月2回福祉センターにて『はつらつタイム』『健康相談』と称し、介護予防教室を開催した。高齢者向けの健康体操や頭の体操『季節のビンゴ』を継続的に行う事で、自立支援の効果が現れてきている。今まで介護予防教室への参加に積極的でなかった方も、血圧測定や健康相談に自ら来るようになるなど、介護予防としての効果は大きくなってきている。その反面、自力で来ることが難しくなる高齢者も多くなり実際

の参加人数は減少傾向にあるのも事実。ふるさとまつりや福祉センターフェスティバルに参加し、地域の住民及び多数の高齢者との交流に力を入れた。また、26年度は在宅介護支援センター菊華園独自の新規プロジェクトとして、「介護予防サロン」[地域交流サロン]を企画・実施することができた。今年度は計10回開催でき、参加された方々にはとても好評であった。27年度も継続していきたい。24年度より在宅介護支援センターの体制が大きく変わったが、今後も「在宅介護支援センター菊華園」として、現在の活動の継続と介護予防への前向きな取り組みをしていく。

3 年間実績報告

I 年間相談

(1) 対象者年齢、男女別件数

年 齢	男	女	合 計
64 歳以下	4	2	6
65 歳～74 歳	43	74	117
75 歳以上	73	182	255
不 明	0	0	0
合 計	120	258	378

(2) 相談者・支援者属性

相談者・支援者属性	合 計
1 本人	175
2 同居の家族	76
3 別居の家族・親族	30
4 知人・近隣住民	5
5 他の在宅介護支援センター・ 他市町村の地域包括支援センター	0
6 社会福祉協議会	3
7 介護保険施設等	0
8 居宅サービス提供事業者	16
9 ケアマネジャー	0
10 児童民生委員	8
11 医療機関	10
12 法律・後見等専門機関や専門職	2
13 警察署	0
14 市役所・地域包括支援センター等	50
15 その他関係機関	3
合 計	378

(3) 相手からの連絡方法・在宅介護支援センターの対応方法

相手からの連絡方法	
1 電話	131
2 面接	38
3 情報提供	37
4 FAX	0
5 郵便	0
6 メール	0
合 計	206

対応方法	
1 電話	67
2 情報聞き取り	18
3 情報提供	18
4 訪問	69
5 FAX	0
6 郵便	0
7 メール	0
8 カンファレンス	0
合 計	172

(4) 相談支援内容

相談支援内容	
1 高齢者虐待	0
2 成年後見制度	0
3 権利擁護全般	0
4 消費者被害	0
5 介護保険サービス	120
6 住宅改修・福祉用具	27
7 介護全般	8
8 福祉制度	106
9 年金・保険・経済関係	0
10 医療・保健・健康	70
11 認知症	4
12 精神疾患	5
13 生活環境	36
14 高齢者の住まい	1
15 その他	1
合 計	378

(5) 時間別件数

時間別件数	
1 6時～8時30分	0
2 8時30分～17時15分	375
3 17時15分～21時	3
4 21時～6時	0
合 計	378

(6) 曜日等別件数

曜日等	
1 月～金曜日	346
2 土・日曜日	26
3 祝日	6
合 計	378

(7) 世帯分類

世帯分類	
1 独居	113
2 高齢者のみ世帯	173
3 日中独居	0
4 その他	92
合 計	378

(8) 相談支援対象者の小学校区

小学校区	
1 第一小	186
2 第二小	5
3 第三小	0
4 清水口小	2
5 大山口小	11
6 南山小	0
7 七次台小	58
8 池の上小	1
9 桜台小	110
10 市内（学区不明）	0
11 市外	5
合 計	378

(9) 相談実人員

実人員数
91

(10) 相談支援の事後

事 後	
1 在支継続	371
2 他機関引継	3
3 経過観察	1
4 終了	3
合 計	378

Ⅱ 申請代行件数

(1) 保健福祉サービス申請代行件数

事業名		件数
在宅福祉サービス	緊急通報装置の貸与	4
	徘徊探索装置の貸与	0
	軽度生活援助サービス	0
	給食サービス	1
	外出支援サービス	0
	寝具乾燥消毒サービス	0
	訪問理美容サービス	0
	紙おむつの支給	0
	住宅改造費助成	0
	福祉タクシー事業	0
	介護支援型短期宿泊（ショートステイ）	0
介護保険申請		14
その他		0
合 計		19

Ⅲ その他 独自活動の状況

(1) 資質向上

相談員の研修会への参加

月	参加した 研修会 回数	延参加職員数
4月	0	0
5月	1	1
6月	1	1
7月	0	0
8月	1	1
9月	0	0
10月	0	0
11月	1	1
12月	1	1
1月	1	1
2月	3	3
3月	2	2
合計	11	11

(2) 在宅介護支援センターの周知

啓発・相談会等

月	行事・相談会 等回数	延参加者数
4月	4	59
5月	4	51
6月	6	73
7月	5	69
8月	3	44
9月	7	77
10月	9	121
11月	9	99
12月	7	103
1月	5	57
2月	5	59
3月	5	50
合計	69	862

(3) その他の活動

月	内 容
4 月	◎桜台地区社会福祉協議会総会・◎連絡調整会議
5 月	◎第一小学校区総会・◎七次台中学校区総会・◎連絡調整会議
6 月	◎連絡調整会議・◎地域ぐるみネットワーク中心メンバー会議
7 月	◎連絡調整会議・◎地域包括運営協議会
8 月	◎連絡調整会議
9 月	◎連絡調整会議・◎桜台サロン企画会議
10 月	◎連絡調整会議
11 月	◎連絡調整会議・◎地域包括システム地域ケア会議
12 月	◎連絡調整会議・◎認知症対策委員会
1 月	◎連絡調整会議・◎多職種連携研修会
2 月	◎連絡調整会議 認知症サポーター養成講座（桜台中学校）・◎認知症対策委員会
3 月	◎連絡調整会議・◎多職種連携研修会

ケアハウス菊華園

運営及び全体について

平成26年度において入居者数は、8人退去・9人新規入居があった。退去者の内、4名は同法人内特別養護老人ホーム、1名高齢者住宅、1名は退院の目途が絶たず、2名入院時死亡となる。

現入所者も半数以上が要支援・要介護の認定がついているが、入居希望者も要介護状態の方々が増えてきている。

介護予防では、「体操クラブ」と脳活性化のため「脳トレーニングクラブ」を継続できており、参加者も多く楽しみながら出来ていて、また、お茶を飲みながら談話しコミュニケーションを取る場ともなっている。

(表1) 月別入居状況

区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月初在居者数	24	20	21	22	21	20	21	22	24	24	24	24
待 機 者	7	7	3	4	7	7	9	8	3	1	1	0

(未現在)

(表2) 地域別入居者状況

地 域		男 性	女 性	合 計
千葉県	白井市	1 (3)	9 (1)	10 (4)
	松戸市	0	1	1
	柏市	0	1	1
	船橋市	2	0	2
	佐倉市	1	0	1
	印西市	0	1	1
	習志野市	1	0	1
	鎌ヶ谷市	0	1	1
	四街道市	1	0	1
	成田市	0	1	1
	流山市	0	(1)	(1)
	木更津市	0	(1)	(1)
長野県	伊那市	0	(1)	(1)
福井県	福井市	0	1	1
東京都	中野区	0	1	1
宮城県	石巻市	0	1	1
埼玉県	川越市	0	(1)	(1)
	三郷市	0	1	1
大阪府	堺市	0	1	1
合計		6 (3)	19 (5)	25 (8)

()は平成26年度退去者

(表3) 退去状況

区 分	男 性	女 性	合 計
自 宅	0	0	0
他施設	2	3	5
入 院	0	1	1
死亡（入院中）	1	1	2
合 計	3	5	8

(表4) 年齢別入居者状況

性 別	最低年齢	最高年齢	平 均
男 性	75	83	79
女 性	74	99	85.1
全体平均年齢	83.6		

(平成 27 年 3 月 31 現在)

(表5) 在宅福祉サービス利用状況

区 分	男 性	女 性	合 計
デイサービス	4	9	13
ホームヘルプサービス	5	9	14
合 計	9	18	27

(平成 26 年度退去者全て含む)

(表6) 要介護認定状況

状況	自立	要 支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 1 ↓ 要介護 3	要介護 2 ↓ 要介護 3	要介護 1 ↓ 要介護 2	要介護 1 ↓ 要支援 2
人数	8	6	11	1	1	3	1	1	1

(平成 26 年度退去者全て含む)

区 分	自 立	要支援	介護度 1	介護度 2	介護度 3 以上	合 計
人 数	7	7	9	2	0	25

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

(表7) ケアサービス利用人数(送迎)

区 分	回 数	区 分	回 数
病院（往復）	186	病院（片道）	9
買い物・美容院・その他	23	その他（片道）	5
福祉センター・習い事等	2	配膳	0
市役所・駅・銀行	5		
合 計		230	

(表8) 行事实績状況

行事名	実施日	場 所	参加者数
外食&お花見	4/4(金)	銚子丸&小林牧場	11
佐倉チューリップ祭り	4/21(月)	佐倉ふるさと広場	5
成田山	5/9(金)	成田山新勝寺	9
買い物ツアー	5/23(金)	千葉ニュータウンジャスコ	5
バーベキュー	6/4(水)	アンデルセン公園	3
防災訓練	6/16(月)	菊華園内	11
おやつイベント	6/26(木)	ケアハウス食堂	11
納涼祭	7/26(土)	菊華園駐車場	20
外食&買い物ツアー	8/8(金)	いんば学舎 オソロク倶楽部&ジョイフル本田	6
おやつイベント	8/27(水)	菊華園 特養食堂	11
白井市敬老会	9/14(日)	白井市文化会館	4
外食ツアー	9/26(金)	はな膳（印西）	9
鳶による梯子・纏い芸	10/19(日)	菊華園駐車場	43
バスハイク	11/7(金)	筑波山	9
外食&買い物ツアー	12/12(金)	銚子丸&カインズホーム	12
初詣	1/1(木)	鳥見神社	9
新年会	1/20(火)	ケアハウス食堂	23
買い物ツアー	3/23(月)	千葉ニュータウンジャスコ	7

(表9) クラブ活動実施状況

クラブ名	実施回数	参加者延人数	ボランティア延人数
アーコーディオン	11	51	22
陶 芸	11	15	11
音楽クラブ (ピアノ)	8	47	8
合 計	30	113	41

菊華クラブ

内 容	実施回数	参加者延人数
脳トレ	43	281
カラオケ	12	47
図書貸し出し	37	117
体 操	87	466
マシントレーニング	32	94

(表10) 年間入院診療科別延人数

区 分	延日数	人 数
内 科	56	2

夢の庄デイサービスセンター

1 利用状況

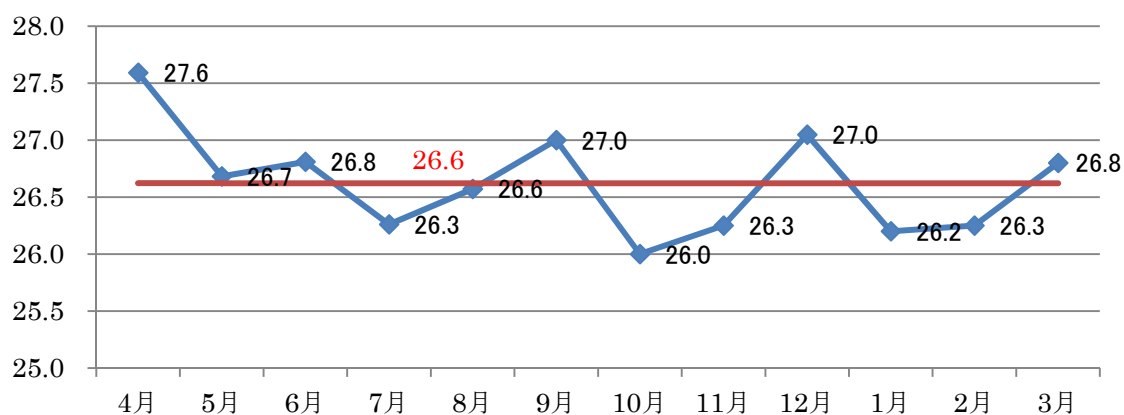
1日の平均利用者数は26.6人となった。今年度の目標利用者数27.0人に対し目標達成することができなかった。

原因としては、ショートステイの利用や体調不良、受診などの理由での欠席があげられる。

(表1) 年間利用状況表

	実働日数	実人数	利用者延数	1日平均	利用率
4月	22日	63人	607人	27.6人	92.0%
5月	22日	62人	587人	26.7人	88.9%
6月	21日	62人	563人	26.8人	89.4%
7月	23日	62人	604人	26.3人	87.5%
8月	21日	64人	558人	26.6人	88.6%
9月	22日	63人	594人	27.0人	90.0%
10月	23日	63人	598人	26.0人	86.7%
11月	20日	61人	525人	26.3人	87.5%
12月	21日	61人	568人	27.0人	90.2%
1月	20日	61人	524人	26.2人	87.3%
2月	20日	62人	525人	26.3人	87.5%
3月	22日	61人	589人	26.8人	89.3%
合計	257日	745人	6842人	26.6人	88.7%

1日平均利用者数



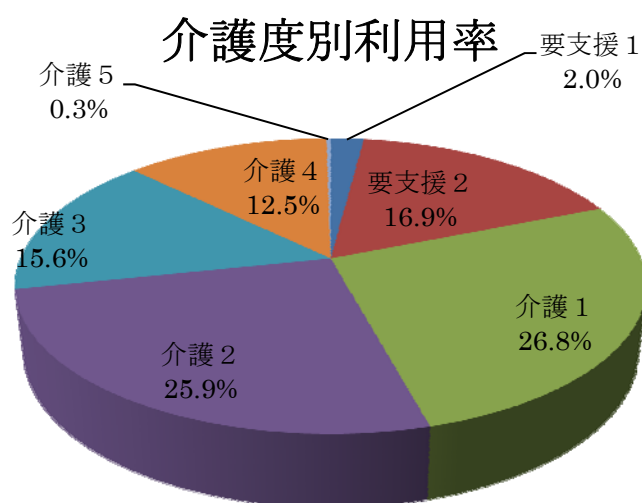
2 介護度別利用実人数

要支援の割合は少なく、介護は全体の8割を占めている。

介護度1、2の利用率が多く全体の5割を占めており、介護度が重くなるにつれて利用は減っている。

(表2) 介護度別利用実人数

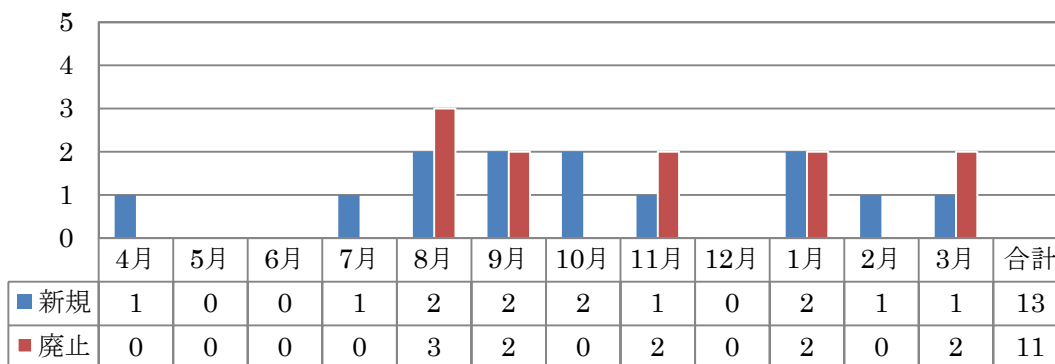
	要支援1	要支援2	計	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	合計
4月	0	11	11	19	19	6	6	2	52	63
5月	0	11	11	18	17	9	7	0	51	62
6月	0	11	11	18	15	10	8	0	51	62
7月	0	11	11	18	15	11	7	0	51	62
8月	1	11	12	18	15	11	8	0	52	64
9月	2	10	12	17	16	10	8	0	51	63
10月	2	11	13	14	18	10	8	0	50	63
11月	2	11	13	15	16	11	6	0	48	61
12月	2	11	13	15	15	11	7	0	48	61
1月	2	10	12	16	15	9	9	0	49	61
2月	2	10	12	16	16	9	9	0	50	62
3月	2	8	10	16	16	9	10	0	51	61
合計	15	126	141	200	193	116	93	2	604	745



3 新規・廃止者数

新規で13名が利用され、廃止者11名と新規利用者数が上回ることができた。廃止者がいない月もあり、全体的に新規の利用者は増えなかった。

新規・廃止者数



4 廃止理由

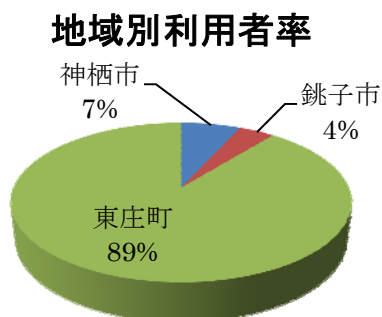
今年度の廃止者数11名と減少している。死亡された方が大幅に減っているが、施設入所者は増えている。

(表3)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
死亡	12 名	11 名	3 名
施設入所	4 名	3 名	6 名
長期入院	0 名	1 名	1 名
その他	6 名	4 名	1 名
合計	22 名	19 名	11 名

5 地域別利用率

東庄町の利用者が9割近くを占めており、近場だと安心して出来るからだと考えられる。



6 入浴

個々の状態に応じた対応方法で、安全に身体の清潔保持と気持ちよくゆったりと入浴できる時間を提供できた。

入浴されない理由としては、自宅で入浴されていたり体調不良によって入浴サービスを利用されなかったりすることがあげられる。

（表４－１）入浴利用者延数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数	607	587	563	604	558	594	598	525	568	524	525	589	570.2
入浴者数	507	493	472	494	474	497	510	444	485	449	455	506	482.2
入浴率	83.5	84.0	83.8	81.8	84.9	83.7	85.3	84.6	85.4	85.7	86.7	85.9	84.6

（表４－２）入浴別利用者延数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	95	103	98	111	105	113	128	114	119	112	105	118	110
女性	412	390	374	383	369	384	382	330	366	337	350	388	372
一般浴	296	298	276	288	285	290	292	278	306	284	277	296	289
リフト浴	211	195	196	206	189	207	218	166	179	165	178	210	193
リフト率	41.6	39.6	41.5	41.7	39.9	41.6	41.7	37.4	36.9	36.7	39.1	41.5	40.0

7 食事

残存機能を生かし、可能な限り自力摂取できる環境を整え、楽しく食事ができるように支援し、体調の変化や嗜好に沿って、利用者のニーズに合わせた食事を提供することができた。

（表５）食事提供延数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	607	587	563	604	558	594	598	525	568	524	525	589
提供数	604	586	558	602	555	594	598	523	567	524	523	567
1日平均	27.5	26.6	26.6	26.2	26.4	27.0	26.0	26.2	27.0	26.2	26.2	26.7
利用率	99.5	99.8	99.1	99.7	99.5	100	100	99.6	99.8	100	99.6	99.8

※利用者数と提供数の差異の多くは、午前中のみの利用者の分である。

8 年間行事

今年度は、観光地としても有名な場所へ出掛け、観光気分を感じられる様な行事を企画し、提供する事ができた。多くの方が参加され大変好評であった。

また、季節や社会的生活を体感出来るようなプログラムを、日々のレクリエーションの中で取り入れ、生活の中で「ハリ」「楽しみ」につながる様な行事を企画・実施した。

(表6)

実施日		行事名	実施場所	延参加人数
4月	2・7・8日	花見	神栖市 神之池	42名
	16日	イチゴ狩り	鈴木イチゴ園	6名
5月	7～9日	つつじ鑑賞	東庄町雲井岬（弁当持参）	51名
6月	5～11日	あやめ見物と潮来道の駅	前川あやめ園/潮来道の駅	40名
	25日	歌謡ショー(慰問)	施設内	25名
7月	7～10日	デザートバイキング	施設内	75名
	23日	ハーモニカ演奏会(慰問)	施設内	26名
8月	5～7日	七夕見物	旭市 中央商店街	39名
9月	15・16日	敬老会	施設内	55名
	17日	歌謡ショー(慰問)	施設内	26名
10月	14・15日	運動会	施設内	52名
	8～10日	お菓子作り	施設内	76名
11月	14・15日	佐原道の駅と菊見物	佐原道の駅と香取神宮	38名
	25日	ハーモニカ演奏会(慰問)	施設内	26名
12月	5日	餅つき大会	施設内（ショート合同）	28名
	24・25日	忘年会(バイキング)	施設内	54名
1月	14～21日	初詣	東庄町 東大社	39名
2月	12～19日	外出喫茶	磯山イチゴ園	31名
3月	4～6日	お菓子作り	施設内	78名
	24日	真訪会(慰問)	施設内	25名

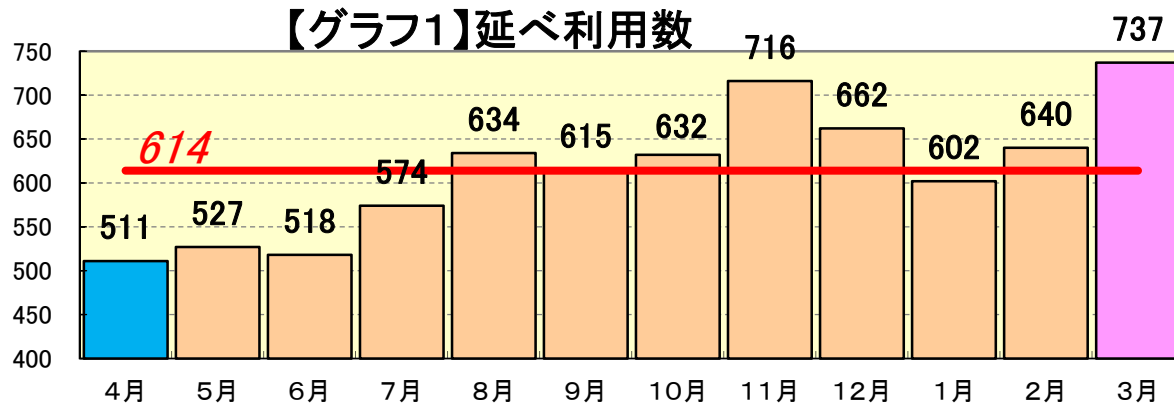
夢の庄ショートステイサービス

1 利用状況

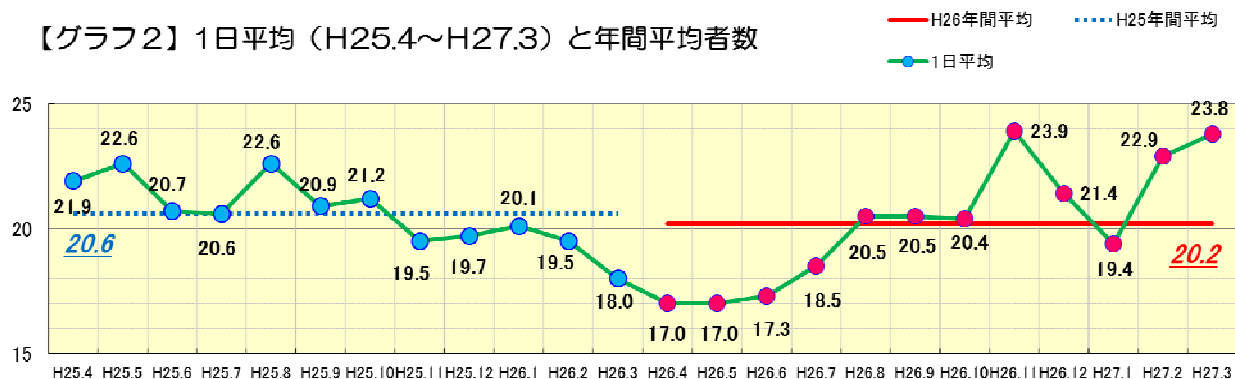
(表1)

	実働日数	実人数	利用延数	1日平均	利用率
4月	30日	57	511	17.0	60.8%
5月	31日	53	527	17.0	60.7%
6月	30日	57	518	17.3	61.7%
7月	31日	60	574	18.5	66.1%
8月	31日	61	634	20.5	73.0%
9月	30日	54	615	20.5	73.2%
10月	31日	65	632	20.4	72.8%
11月	30日	67	716	23.9	85.2%
12月	31日	60	662	21.4	76.3%
1月	31日	64	602	19.4	69.4%
2月	28日	64	640	22.9	81.6%
3月	31日	63	737	23.8	84.9%
合計	365日	725	7368	20.2	72.2%

【グラフ1】延べ利用数



【グラフ2】1日平均（H25.4～H27.3）と年間平均者数



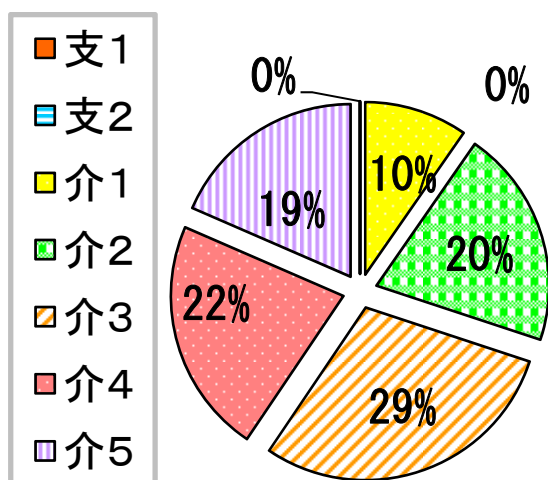
昨年度後半からの人員不足によるワンフロア営業を年度内で修正することができず、前半4ヶ月は数字を上げることができなかった。後半は盛り返したものの、H27.1に再び利用者の体調不良等で数字が伸び悩み、年間平均20.2名と目標数値にはまったく届かなかった。

2 介護度

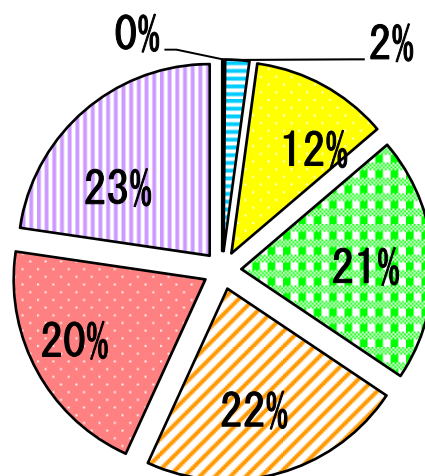
(表2) 介護度別利用実人数

	支援	介1	介2	介3	介4	介5	合計
4月	0	7	13	13	11	13	57
5月	0	7	11	15	10	10	53
6月	0	7	9	18	10	13	57
7月	0	7	11	19	12	11	60
8月	0	4	11	20	14	12	61
9月	0	4	9	18	13	10	54
10月	0	5	14	20	15	11	65
11月	0	7	14	22	13	11	67
12月	0	7	11	18	13	11	60
1月	0	4	13	19	16	12	64
2月	0	6	15	16	16	11	64
3月	0	5	17	15	17	9	63
合計	0	70	148	213	160	134	725

【グラフ3-1】
平成26年度介護度別一覧



【グラフ3-2】
平成25年度介護度別一覧

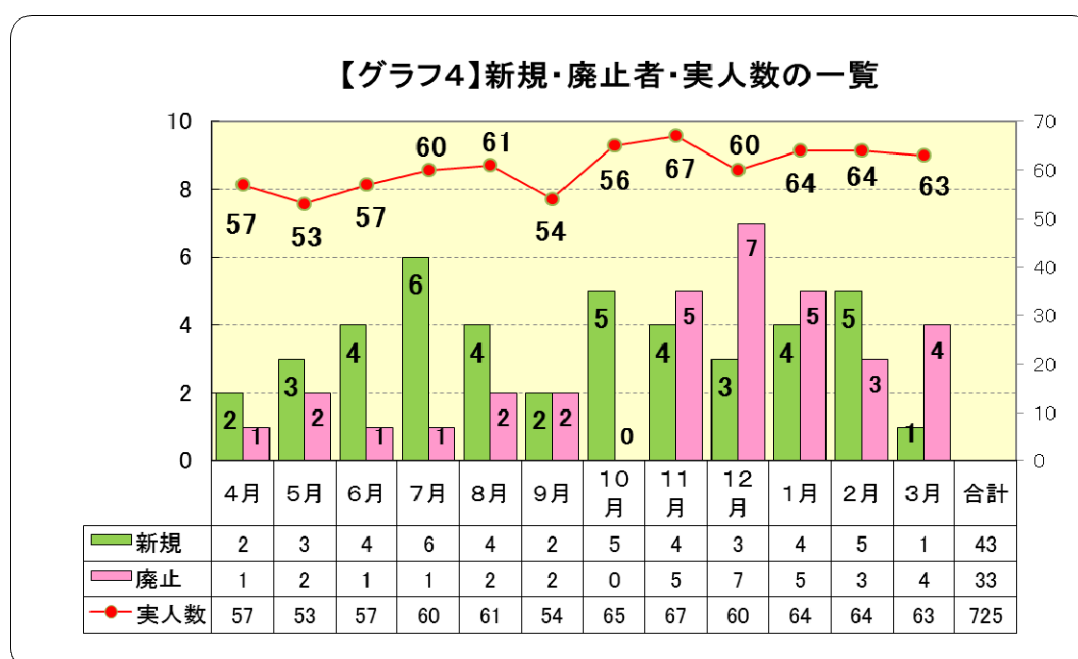


昨年度と比較すると介護3の利用割合が高くなっている。要支援者の利用者は全くなく、介護1と介護5の割合も減っている。

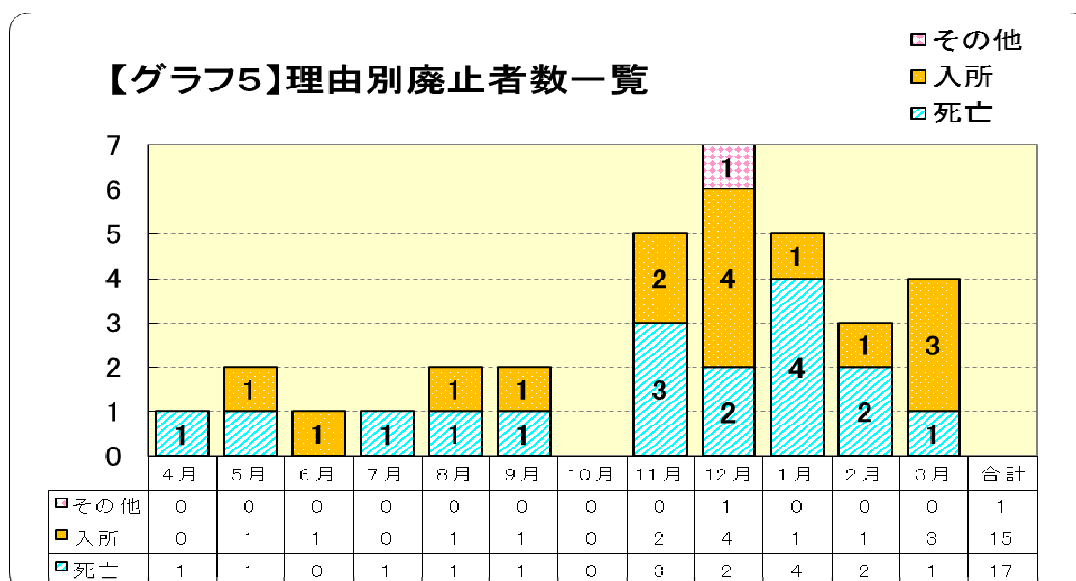
3 新規・廃止者の一覧

【グラフ4】は、年間の新規・廃止者数をグラフにしたものである。

新規者数は43名、廃止者数は33名と新規数は上回ったが、昨年度と比較すると新規者数は減っている。実人数と比較しても、新規数の割合は少ないため、固定客の利用が数字を大きく占めていることが分かる。

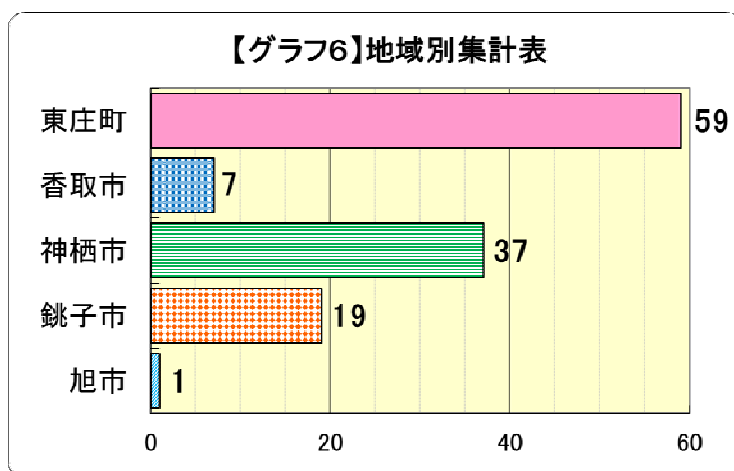


【グラフ5】は、廃止者の内訳をグラフにしたものである。入所による廃止15名、死亡による廃止17名とほぼ差は見られなかった。



4 地域別集計

【グラフ6】は、1年間に利用された方を住んでいる市町村ごとに分類したグラフである。東庄町59名、神栖市37名と利用者の大多数を占めている。

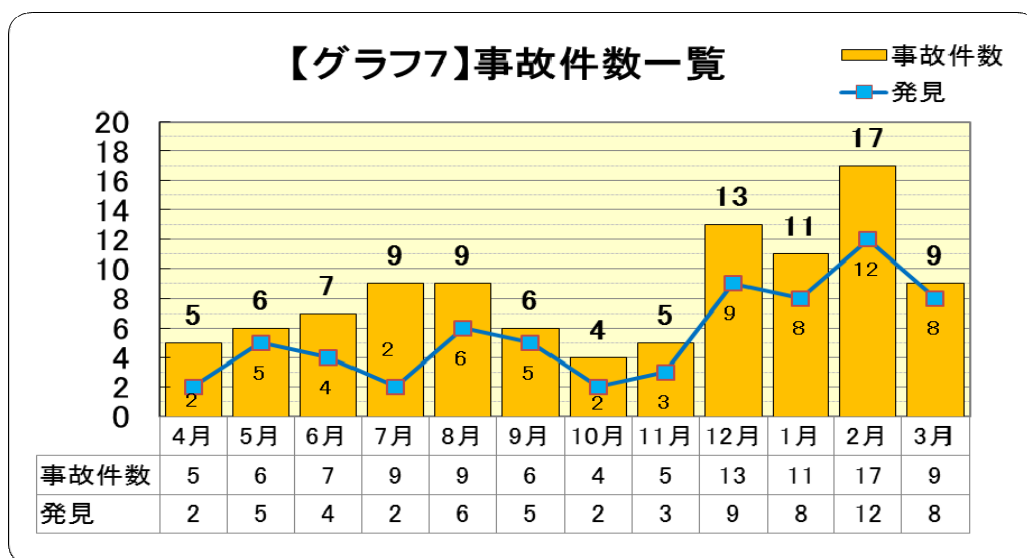


5 委員会活動

事故対策委員会

○事故報告書とヒヤリハット報告のまとめ、対応策の検討と徹底

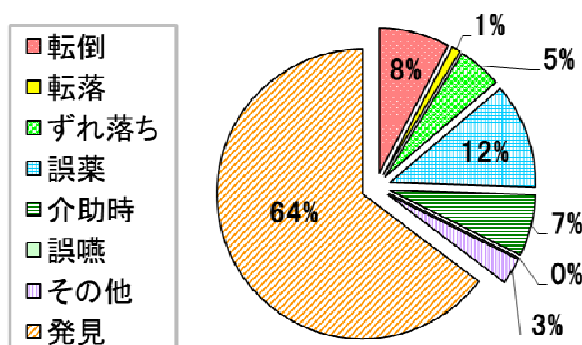
年間の事故に関する集計一覧は下記の通りである。



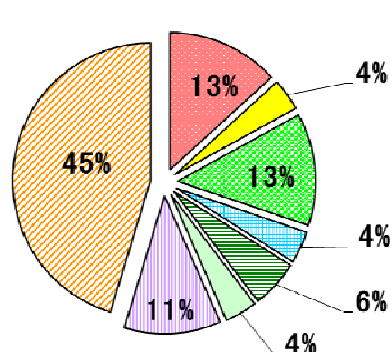
昨年度と比較すると全体的に増えており、特に12月以降は急激に増加している。これは、利用者集が増えたこともあるが、それ以外に「状況(発見)報告書」を新たな形に変えて導入したことにより、職員ひとりひとりが発見に対しての意識が高まったからだと推測する。今後はこの報告書を活かし、注意不足や介助方法の不備による事故だけでなく、発見件数も減少させていきたい。

	転倒	転落	すれ落ち	誤薬	介助時	誤嚥	その他	発見	合計
4月				3				2	5
5月					1			5	6
6月				1	1		1	4	7
7月	2			3	2			2	9
8月			1	1	1			6	9
9月	1							5	6
10月		1	1					2	4
11月	1		1					3	5
12月	2			2				9	13
1月			1				2	8	11
2月	2		1	2				12	17
3月					2			8	10
合計	8	1	5	12	7	0	3	66	102

【グラフ8-1】
平成26年度事故内容一覧

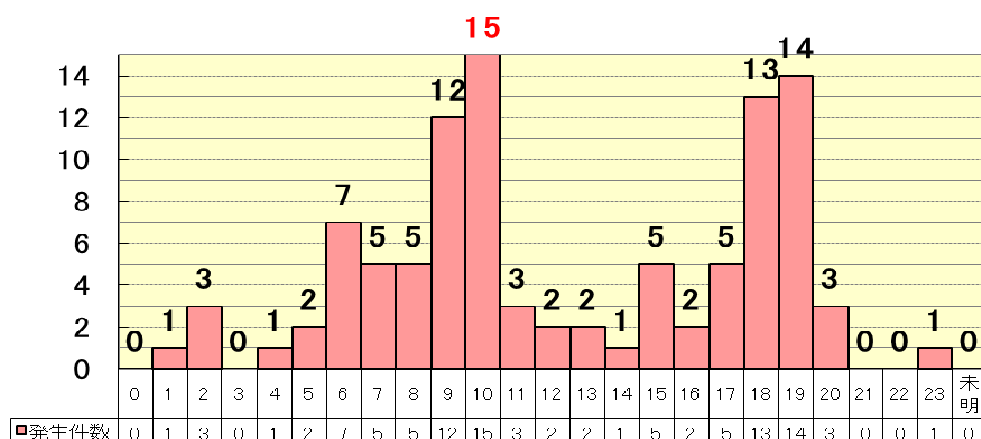


【グラフ8-2】
平成25年度事故内容一覧



誤嚥が発生ゼロだったことは食事時の職員の見回りや声かけの成果だと思う。しかし、誤薬の件数が増加傾向である。誤薬といっても「与薬間違い」「与薬忘れ」から「床に薬が落ちていた」等の様々な事例があるが、どれも薬に対しての職員の意識の低さが原因だと考えられる。この問題を解決するために、薬の勉強会を開催し、職員全体で薬の基礎知識向上や与薬方法を根拠から再確認することが大切である。

【グラフ9】事故発生時間一覧



9時 10時に多い理由としては入浴時の身体チェックによる発見が多数を占めるが、入浴者が多い場合は慌ただしくなることが度々あり、その結果、注意不足からの転倒や着脱介助等で問題があり表皮剥離を起こしてしまったとも考えられる。そのことから、入浴担当職員は気持ちに余裕を持つことが何よりも大切である。また 18時 19時は就寝時の身体チェックの際の発見が理由である。昨年と大きく違うのは起床時(6 時台)の発生が増加していることである。これは夜勤者が一斉に起床する利用者に対して経験不足からの危険予測ミスが原因であった。これは今後予定している「危険予測(優先順位)の勉強会」で改善していくことが事故対策委員会の課題である。

身体拘束ゼロ委員会

- 身体拘束ゼロ便り発行
- 個別対策シート作成と更新

美化委員会

- コスト削減の周知徹底
- 職場環境整備の徹底

感染症対策委員会

- 感染対策の徹底（実技研修、実技試験の開催）

ケア対策委員会

- センサー、エアマット、布団対応などの利用者個別の対応一覧表の作成・更新
- ケアプラン作成
- 階段での避難誘導訓練の開催

緊急時対策委員会

- 緊急時連絡網作成・更新および、実施訓練
- 避難訓練の実施
- 緊急時の必要物品の整備と管理

研修委員会

- 職場内研修の計画、実行
- 職場外研修の情報収集、職員選定

6 年間行事について

計画行事はもちろん、計画外の外出活動も柔軟に企画し、またボランティアも積極的に受け入れることで、地域交流にも繋がった。

	実施日	行事名	実施場所	延参加人数
4月	1・3・12日	桜工作	施設内	19名
	1～4・6・8日	お花見	桜公園/佐原方面/ 旭袋公園/雲井岬	27名
	16日	いちご狩り	鈴木農園	3名
	11・25・26日	ドライブ	飯岡灯台/東大社/橘ふれあい公園	11名
5月	13日	ドライブ	銚子方面	8名
	14日	ホットケーキ作り	施設内	7名
	14・29日	日帰り旅行	成田航空科学博物館& 空の駅風和里しばやま	12名
6月	7・14・26・30日	ドライブ	旭方面/飯岡灯台 潮来あじさい公園/ 神栖市サボテン公園	16名
	17・21日	運動会	施設内	29名
7月	1日	ホットケーキ作り	施設内	7名
	3・12日	ドライブ	旭方面/親水公園/ 銚子犬吠崎	7名
	7日	太鼓演奏鑑賞	施設内	21名
	16・21日	流しそうめん	施設内	26名
8月	1日	小見川花火大会鑑賞	東庄町こじゅりん公園	6名
	9日	盆踊りと夕市見学	東庄町役場	6名
	20日	ドライブ	銚子犬吠崎	3名
9月	16日	敬老会バイキング	施設内	16名
	9・10日	敬老会ビンゴ大会	施設内	19名
	25日	敬老会	施設内	15名

		職員による寸劇鑑賞		
	18日	ドライブ	神栖方面	6名
10月	10・14・25・30日	ハロウィン 仮装パーティー	施設内	32名
11月	2・27日	ドライブ	銚子マリーナ（デコトラ市） 佐原道の駅	7名
	7・10・11・17・ 20・28日	外食&買い物ツアー	銚子イオン	12名
12月	8・31日	ドライブ	山田ふれあい公園/ 長照寺/鹿島工業地帯	8名
	5日	餅つき	デイ合同：施設内	17名
	21・22日	ケーキバイキング	施設内	26名
	12月上旬	クリスマス飾り作り	施設内	32名
	12月下旬	干支飾り作り	施設内	20名
2月	2・3日	節分	施設内	20名
3月	2・3日	ひな祭り会	施設内	23名
	25日	ドライブ	銚子セレクト市場	5名

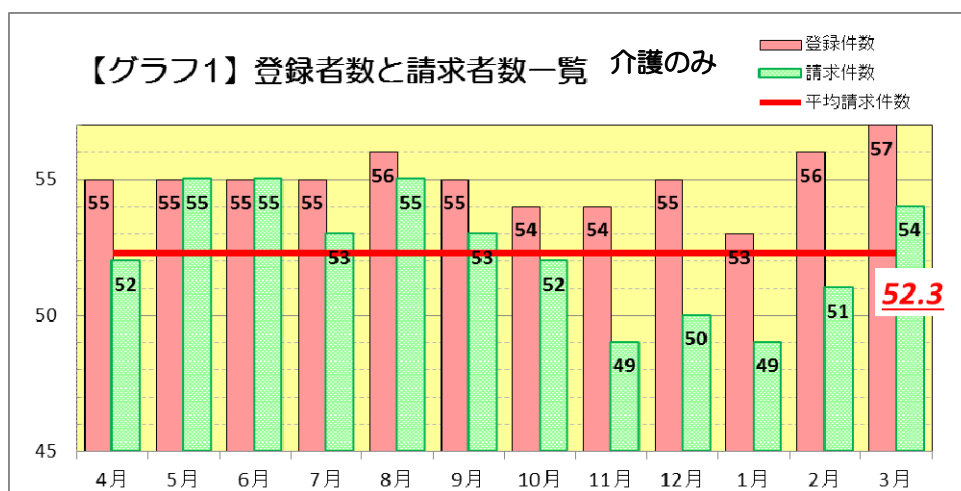
7 研修

開催月	研修内容
4月	介護保険制度について
	コミュニケーション研修 ※外部研修参加後に開催
5～6月	人間力向上研修 ※外部研修参加後に開催
8月	認知症について ※認知症マニュアルをもとに講義研修
9月	身体拘束について ※事例をもとに検討会
8月/3月	避難訓練実技研修（階段による避難誘導）
11月	アンガーマネジメント研修 ※外部研修参加後に開催
10～12月	感染対策研修 ※講義後実技試験
随時	医学知識について ※看護による講義後、ペーパーテスト
随時	介護技術：排泄ケア/移乗/着脱/入浴介助 ※実技試験
随時	福祉用具（エアマット、車椅子等）使用法について ※実技指導
随時	リスクマネジメント研修：緊急時電話対応&救命措置シミュレーション ※夜勤・宿直対応者全員に実技試験
随時	P E G研修/水銀計研修 ※実技試験
随時	新人研修 ※実技、実演指導を中心としたカリキュラムに沿った指導

夢の庄居宅介護支援センター

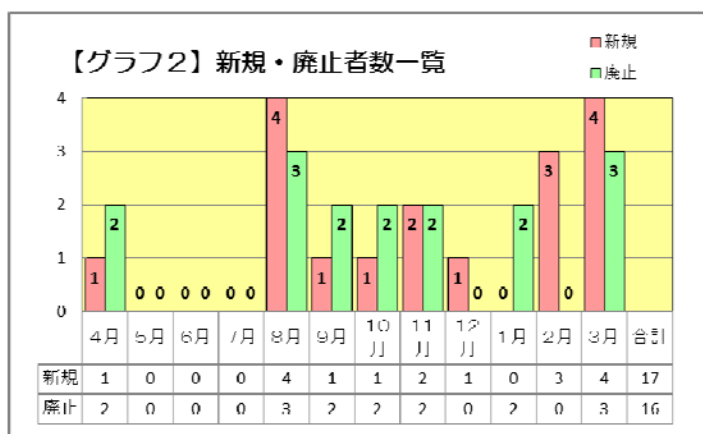
1 登録者と請求者

【グラフ 1】は登録者と請求数の一覧である。新規依頼は積極的に受けており、入院や死亡などによる減少を防ぐ努力をしたが、11 月からは新規依頼を受けるもサービス未利用や再入院などが重なり実績にも影響してしまった。



2 新規・廃止者の一覧

年間の新規 17 名に対し、廃止者は 16 名であった。廃止者の理由は、昨年度と変わらずやはり死亡による廃止が多く、ついで入所となっている。

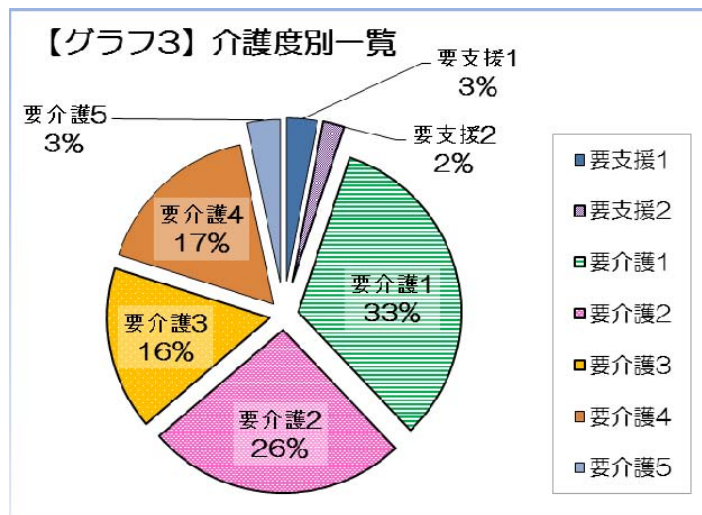


(表 1)

年度	25 年度	26 年度
死亡	10	6
入所	5	5
入院	5	2
その他	2	3
合計	22	16

3 要介護度別利用者

前年度に引き続き、介護度 1、2 の方で約 6 割を占めている。入所施設が増えたり、増床したりと、介護度が重い方の施設入所が増え、介護度 3 以上の方もすぐに入所すること多い。そのため、昨年同様介護度 4 や 5 の方の新規依頼は 1 件もなかった。しかし、在宅生活を少しでも長く続けられるようサポートすることで、介護度が重くなっても担当を継続できている方も多く、介護 4 の割合は高くなっている。



4 市町村別登録者数

要介護から要支援となった場合でも引き続き担当することで、登録者数に大きな現象はなく、新規依頼を積極的に担当することで少しずつ登録数も増えている。

(表2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東庄町	50	50	50	50	51	50	49	49	50	48	51	52
予 防	1	1	1	1	3	3	4	4	4	4	4	4
神栖市	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	56	56	56	56	59	58	58	58	59	57	60	61

5 事業者別利用者数一覧（上段/数：下段/%）

(表3)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通所介護	夢の庄	23	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	27
		63.9	63.2	60.0	60.0	63.2	63.2	63.2	65.8	67.6	67.6	65.8	61.4
	その他	13	14	16	16	14	14	14	13	12	12	13	17
		36.1	36.8	40.0	40.0	36.8	36.8	36.8	34.2	32.4	32.4	34.2	38.6
	合計	36	38	40	40	38	38	38	38	37	37	38	44
短期入所	夢の庄	8	10	11	11	12	7	14	14	16	13	13	13
		88.9	83.3	91.7	91.7	92.3	87.5	93.3	93.3	94.1	92.9	92.9	92.9
	その他	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		11.1	16.7	8.3	8.3	7.7	12.5	6.7	6.7	5.9	7.1	7.1	7.1
	合計	9	12	12	12	13	8	15	15	17	14	14	14

特別養護老人ホームアンスリール

1 入退所状況

(表1) 月別入退所者数(既存)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入 所	18	15	9	7	7	0	0	1	0	0	1	1	59
退 所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3

(表2) 退所理由別内訳

退所理由	肺炎の為入院	心不全の為入院	脳梗塞の為入院
人数	1	1	1

(表3) 入所者申込者数

平成27年度3月31日現在	96
---------------	----

2 実績

(表1) 月別在所者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平 均
18	33	42	49	56	56	56	57	56	55	55	56	49.1

(表2) 月別在所者延数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
259	798	1210	1441	1635	1680	1736	1710	1765	1731	1543	1736	17244

(表3) 月別入院日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
0	28	30	21	6	28	11	33	78	57	31	27	350	29.2

(表4) 月別外泊日数（入院以外）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
0	0	3	1	0	0	0	1	2	11	0	0	18	1.5

(表5) 月別利用者延数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
259	770	1177	1419	1629	1652	1725	1676	1685	1663	1512	1709	16876

3 入居者の状況

(表1) 保険者別人数

保険者	白井市	印西市	船橋市	市川市	四街道市	鎌ヶ谷市	我孫子市	流山市	千葉市若葉区
人 数	27	10	2	2	1	1	1	1	1
比率 (%)	48.2%	18%	3.6%	3.6%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%

保険者	富里市	白子町	酒々井町	世田谷市	品川区	江戸川区	台東区	八王子市	姫路市	合 計
人 数	1	1	1	2	1	1	1	1	1	56
比率 (%)	1.8%	1.8%	1.8%	3.6%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	100%

(表2) 平均介護度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平 均
3.9	3.8	3.5	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.6

(表3) 介護度別人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
要介護2	0	0	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4
要介護3	7	16	18	21	27	26	25	26	26	24	25	25
要介護4	5	8	13	15	15	16	17	16	16	17	18	17
要介護5	6	9	9	10	11	10	9	10	9	9	8	8

(表4) 年齢別の状況

3月31日現在

年齢	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合 計
男 性	0	0	1	3	2	5	2	0	0	13
女 性	0	1	3	4	9	12	11	1	2	43
合 計	0	1	4	7	11	17	13	1	2	56

(表5) 平均年齢

男 性	女 性	全体平均
83.85	85.70	85.27

(表6) 日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度										障害高齢者の日常生活自立度										
3月在籍者										3月在籍者										
	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計		自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男性	0	1	0	6	0	1	5	0	13	男性	0	0	2	5	1	0	4	1	0	13
女性	4	4	4	10	11	3	5	2	43	女性	0	0	2	9	5	9	15	1	2	43
合計	4	5	4	16	11	4	10	2	56	合計	0	0	4	14	6	9	19	2	2	56

(表7) 入所者介護状況

移動	男性	女性	合計	食事	男性	女性	合計
車椅子	6	24	30	自立	4	7	11
歩行	4	10	14	一部介助	7	34	41
杖歩行	1	1	2	全介助	1	3	4
手引き歩行	1	3	4	合計	12	44	56
歩行器	0	6	6				
合計	12	44	56				

排泄	男性	女性	合計	入浴	男性	女性	合計
自立	3	5	8	見守り	2	1	3
誘導	7	29	36	リフト浴	10	39	49
おむつ交換	2	10	12	特浴	0	4	4
合計	12	44	56	合計	12	44	56

(表8) 診療科目別外来受診者 (延人数)

	内科	整形外科	外科	皮膚科	歯科	泌尿器科	脳外科	眼科	循環器科	精神科	救急外来	耳鼻科	リウマチ	リハ	婦人科
北総白井病院	11	20	36	38		20	1				1	3			
白井聖仁会病院	6	17						3							2
セコメディック病院	14	7	1				16	1	2		1		4		
鎌ヶ谷総合病院	17		1				2		6	1	3				
千葉北総内科 CN	10														
東邦鎌ヶ谷病院								3							
小池病院										4					
西白井ファミリーCN				1											
慈恵柏病院			1												
白井眼科 CN								2							
白井歯科 CN					27										
メディカルプラザ江戸川	4														
印旛日医大	5										1				
初台病院														9	
大野病院	4														
印西 CN	4														
八千代病院										1					
合 計	75	44	39	39	27	20	19	9	8	6	6	3	4	9	2

(表9) 面会者延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
73	257	418	446	475	387	392	421	378	370	322	337	4276

(表10) 行事参加者延人数

実施月	行事名	参加人数	実施月	行事名	参加人数
5月	京成バラ園	4	11月	ハロウィン（園児が仮装）	59
6月	野球観戦（入居者の要望）	2	12月	餅つき	48
7月	警察音楽隊コンサート	6		各ユニットクリスマス会	59
	七夕交流（アンスリール保育園児）	25	1月	新春コンサート	1
	阿夫利神社まつり（印西市浦部）	3	2月	節分（職員が鬼に扮し各ユニットを回る）	57
9月	敬老会	57	3月	パン作り（各ユニットにて企画）	10
10月	運動会（リハビリ中心）	30		外食（各ユニットにて企画）	2
11月	外食会（寿司）	7		花見（各ユニットにて企画）	2
	音楽会（白井文化センター）	3		紙粘土細工（各ユニットにて企画）	20
	ユニットパーティー（ホットケーキ、お好み焼き）	20			

(表11) ボランティア延人数

ボランティア名	傾聴ボランティア	日舞	シニアアンサンブル	フルートサークル
延人数	30	5	21	3

(表12) 内部研修参加者数

実施月	研修名	参加者数	実施月	研修名	参加者数
4月	AED 研修（普通救命講習Ⅰ）	33	11月	危険予知（委員会によるヒヤリハット報告書）	29
5月	リスクマネジメント（委員会によるリスク管理）	17	12月	褥瘡（委員会による褥瘡とは）	9
6月	接遇（菊華園にて外部講師）	18		口腔ケア（歯科医師による口腔ケア研修）	32
	ストーマ（相談員によるストーマに関する研修）	7	1月	薬の基礎知識（薬剤師による薬の基礎知識・副作用）	18
8月	口腔・嚥下（栄養課による口腔摂取の有効性）	7			
9月	排泄（業者によるおむつの当て方）	13	2月	身体拘束（委員会によるスピーチロックについて）	19
10月	感染症（委員会による基礎知識及び予防策）	15	3月	感染症（委員会による肝炎・MRSA・疥癬）	10

(表13) 防災訓練

実施日	訓練内容	参加者数（入居者・職員・児童）
6月6日	消火・通報・避難・総合	55
10月10日	消火・通報・避難・総合	71
3月15日	消火・通報・避難・総合（夜間）	63

(表14) 理美容利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	13	9	13	14	19	16	19	16	23	14	156

4 栄養課

(1) 栄養ケアマネジメント

栄養ケア計画を3ヶ月ごとに見直し、更新・変更、ご家族からサインを頂いた。

施設サービス計画、個別機能訓練計画と並行して更新できるようにサイクルの表をもとに、月に1回ユニットごとに相談員・介護・医務・作業療法士・管理栄養士が集まり・アセスメント、カンファレンス等を行った。

入居者の低栄養状態をBMI・食事摂取量・血清データより、リスク（低・中・高）判定し、各リスクごと（高リスク2週毎・中リスク1ヶ月毎・低リスク3ヶ月毎）にモニタリングを行った。また毎月、体重測定・平均食事摂取量・ハリス式に基づいて必要栄養素量の算定を行った。

中リスクから低リスクのアップを図るために栄養補助食品・食事形態の検討を行った。

食事環境・食事形態など、介護職員と意見を交わしながら入所者の日常の変化の速度に合わせた個別の栄養管理を行った。

治療食献立作成（減塩食・糖尿病食・糖尿病性腎症）特別食（アレルギー・潰瘍食）など個別におやつを含めて個別対応を行った。

(2) 行事食

毎月献立の中に行事食を取り入れ食を通して四季を感じる食事の提供を行った。

ユニットの長所を引き出す為にユニットごと、番街ごとを対象に小規模でも季節イベント食（おはぎ・おいなりさん）誕生日会（焼きそば・お好み焼き・ホットケーキ）など、入居者が楽しく過ごせるように介護職員と一緒に考え開催する事ができた。

(3) 集団・栄養、リハビリ開催

作業療法士と一緒に集団リハビリ（手先を使って料理）を開催することができた。

食を通して四季を感じる事ができる様なおやつ献立を考え、入居者が一緒に手先を使って調理を楽しみながら開催ができた。

(4) 給食会議

ユニット給食会議・保育園給食会議をそれぞれ、月に1回開催できた。

新しい提案や、ルールの見直しを行い、意見を交わすことにより理解を深めよりよい食事の提供につながった。

(5) 研修

新人を対象に研修を行った。

千葉県栄養職員研修に参加して、ソフト食の調理研修に参加し様々な嚥下状態の悪い利用者様のアプローチ方法を習得できる講義に参加できた。

病院・福祉施設等給食施設従事者研修会に参加して、日本人食事摂取基準2015年版について、5年に一度の改定のポイント・改定目標量から活用の方法の要点の講義に参加できた。また、近年新しい指標フレイルティ・サルコペニアの診断方法の講義に参加できた。

（６） まとめ

作業療法士と一緒に集団リハビリを開催することができ、入居者様の得意分野・活気・笑顔を引き出す事ができ日々の生活の楽しみを増やすことができるように今後も定期的に協力しながら実施していきたい。

中リスク者の原因は BMI だけでなく、食事摂取量不良で中リスク者がいることに気づき介入を行った。摂取嚥下の状態・自助具の選択、含浸食の導入など相談員・介護職・作業療法士と一緒に、対象者の性格・偏った習慣など日々の変化を話し合い食事摂取量の増加に繋がりリスク判定でアップできた。栄養ケアマネジメントを実施していくなかで、中リスクを減らせる事ができるように、各専門職とこまめに情報の共有を行い入居者様が健康状態を維持し心身共に安定した生活を送っていけるようにしたい。

5 個別機能訓練

(1) 実施計画

① 個別機能訓練計画の作成

個別機能訓練計画を3ヶ月ごとに見直し、計画の更新・変更を行い、説明をした上でご家族からサインをいただいた。

② 個別機能訓練の実施

作業療法士：個別機能訓練計画に沿って日常生活の中で機能訓練を実施した。できる限り全ての入居者様に関わられるように記録用紙を作成した。 ※別紙 表2参照

介護職員：個別機能訓練計画に沿って日常生活の中で作業療法士指導のものの機能訓練を実施した。実施した内容を記録用紙に記載。

③ 個別機能訓練実施記録

作業療法士：実施した内容や特記事項に関して記録を行った。

介護職員：個別の機能訓練プログラム内容を記載した記録用紙を作成し各ユニットに配布した。記録用紙への時間・実施内容・実施者の記載を依頼。

④ ケースカンファレンスの開催・記録

3ヶ月に1度、他職種合同で実施。入院後や発病、受傷、身体・精神機能の低下などの状態に明らかな変化が生じた場合に、その都度臨時開催し必要に応じて計画書の更新をおこなった。

(2) 集団リハビリの開催

6月より毎月1～2度、作業活動や体操を用いた集団リハビリを企画し実施した。

月	内容	参加人数
6月	フェルト手芸	8名
7月	牛乳パックの鉛筆立て作り	7名
8月	牛乳パックの鉛筆立て作り	5名
9月	ちぎり絵	19名
10月	シッティングエアロビクス	28名
11月	クリスマスリース作り	各ユニット
12月	クリスマス飾り	16名
1月	絵手紙	21名
2月	クッキー作り	21名(女性限定)
3月	さくら餅作り	8名(男性限定)

考察

生活の中での楽しみの一つとして集団を利用した作業活動等を企画・運営してきた。回を重ねるごとに参加される方の人数も増加傾向となってきた。今年度は、作業を用いた集団活動が中心となってしまった為、今後は運動的な要素も取り入れた活動も実施し、参加される方の幅も広げていきたい。月に1回と少ない開催であるため、今後は頻度も増やしていけるように方法等の検討に努め、また入居されている方の精神賦活の一環として働きかけていけるように継続していく。

(3) 職員研修会の実施

今年度は非実施。今後、要請を受けた場合や、研修会が必要と感じたことに対して研修会を企画し実施していく予定。

(4) 職員への技術指導

職員からの要請に応じ、個別機能訓練内容の説明や移乗動作・ポジショニング方法等の検討を行い、専門職としての立場から技術指導を行った。

① 個別機能訓練方法の指導

関節可動域練習の方法や、歩行介助の方法など指導を実施した。

② 移乗や体位交換方法の検討

要請に応じ、移乗方法や体位交換方法を直接技術指導ならびに、紙面を作成し紙面を用いて周知徹底に働きかけた。

③ ポジショニング方法の検討

要請に応じ、車椅子座位やベッド上でのポジショニング方法を検討し、直接指導ならびに、紙面を作成し紙面を用いて周知徹底に働きかけた。

◆別紙

(表1) 月別男女別 実施人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	40	30	25	23	28	18	29	30	34	34	20	35	346
女性	96	112	73	81	135	130	138	141	178	146	135	129	1494
合計	136	142	98	104	163	148	167	171	212	180	155	164	1840

(表2) 訓練内容別 実施人数

(作業療法士の実施数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
関節可動域練習	110	101	48	45	62	49	56	48	70	55	41	58	743
筋力維持練習	87	75	0	3	1	3	2	0	14	7	5	2	199
立ち上がり練習	47	27	6	2	7	7	9	9	20	17	20	18	189
歩行練習	59	33	17	34	59	53	50	44	77	76	53	62	617
移乗練習	1	0	0	0	0	2	2	3	2	1	1	1	31
離床励行	0	8	0	0	4	4	6	3	1	0	0	1	27
精神賦活活動	21	16	17	17	37	39	49	69	59	50	62	50	486
バランス練習	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
摂食練習	3	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	10
その他	0	0	0	3	2	3	7	3	0	0	0	1	82
合 計	136	142	98	104	163	148	167	171	212	180	155	164	2387

考察

入居者様・ご家族の反応としては比較的良好な反応を得ているため、今後も継続しそれぞれの入居者様との関わる時間を大切にしていきたい。
また、個別機能訓練を希望されている入居者様も多い為、可能な限り平等に介入していけるように働きかけていく。また、中には拒否をされる入居者様もいるため、介護職員との連携をとりながら生活リハビリを通して機能維持に努めていく。

アンスリールショートステイサービス

1 実績

年間延利用者数は、1,159 名となった。1 日の平均利用者数にすると 3.2 名となり、長期・短期入所での全体稼働率は平均 35%であった。5 月より 3 床を短期入所分とし開始する。長期の空所を含め年 3.2 件の利用があり、殆ど空所を作らないよう努めた。

(1) 介護度別利用者延数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均件数	介護度
4 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 月	0	0	0	0	0	9	2	11	0.3	3.5
6 月	0	0	0	19	32	31	5	87	2.9	3.5
7 月	0	0	44	8	49	27	0	128	4.1	2.4
8 月	0	0	3	25	45	43	0	116	3.7	2.4
9 月	0	0	0	0	25	49	36	110	3.7	2.8
10 月	0	0	0	0	37	23	27	87	2.9	2.9
11 月	0	0	4	35	37	19	0	95	3	2.4
12 月	0	0	0	0	64	37	28	129	4.2	2.8
1 月	0	0	4	63	29	36	26	158	5.1	2.8
2 月	0	0	0	57	20	46	2	125	4.5	3.0
3 月	6	0	0	41	63	0	3	113	3.6	2.5
合 計	6	0	55	248	401	320	129	1159	3.2	2.6

(2) 送迎別利用回数

	施設送迎			家族送迎		
	入所	退所	合計	入所	退所	合計
4 月	0	0	0	0	0	0
5 月	1	0	1	1	0	1
6 月	2	3	5	3	1	4
7 月	10	3	13	3	8	11
8 月	11	10	21	4	5	9
9 月	13	11	14	4	7	11
10 月	14	9	23	2	9	11
11 月	14	9	23	3	7	10
12 月	24	15	39	3	11	14
1 月	17	14	31	3	6	9
2 月	15	14	29	3	6	9
3 月	11	10	21	0	0	0
合計	132	98	230	29	60	89

アンスリール居宅介護支援センター

介護を要する状態になっても、出来る限り在宅で自立した生活を営めるように相談支援業務を行いました。

1 登録者数の推移について

平成26年4月よりアンスリール居宅介護支援センター開設となる。12月と1月で登録数に大きな変化があるが、これはアンスリール居宅介護支援センター・菊華園居宅介護支援センター間で介護支援専門員の異動があった為である。

登録者数(月平均)は目標数値の74%、上半期(4～9月)71%、下半期(10～3月)77%と上昇傾向で推移している。

(表1) 市町村別登録者数

	白井市		印西市		船橋市		鎌ヶ谷市		その他		合 計	
	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防
4月	21	2	0	0	1	0	1	0	0	0	23	2
5月	23	2	0	0	1	0	0	0	0	0	24	2
6月	24	1	0	0	1	0	0	0	0	0	25	1
7月	23	1	1	0	1	0	0	0	0	0	25	1
8月	22	1	2	0	1	0	0	0	0	0	25	1
9月	21	1	2	0	1	0	0	0	0	0	24	1
10月	21	1	1	0	1	0	0	0	0	0	23	1
11月	20	1	1	0	2	0	0	0	0	0	23	1
12月	19	1	1	0	2	0	0	0	0	0	22	1
1月	23	2	1	0	4	0	1	0	1	0	30	2
2月	24	2	0	0	4	0	1	0	1	0	30	2
3月	24	2	0	0	3	0	1	0	1	0	29	2
平均	22.1	1.4	0.8	0	1.8	0	0.3	0	0.3	0	25.3	1.4

※白井市の登録者数が全体の88%を占めている。

※登録者数(月平均)は目標数値の74%となっている。

2 新規登録者について

26年度の新規登録者は介護給付50名、予防給付は4名であった。

(表2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	23	2	1	2	1	0	0	1	1	18	1	0	50
予防	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
合計	25	2	1	2	1	0	0	1	1	20	1	0	54

- ※平成26年4月の開設であり、4月の新規については菊華園居宅よりの移動の人数となっている。
- ※1月の新規についてもアンスリール居宅・菊華園居宅間で介護支援専門員の異動があった為、大幅な新規登録者人数の増加となっている。
- ※ その他の新規登録者についての相談経路は、包括からの紹介が70%を占めている。

3 登録廃止者について

今年度の廃止者は死亡による廃止が多くを占めている。死亡については脳梗塞・肺炎で入院しそのまま亡くなっている。

(表3)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
死亡	0	0	1	2	0	0	1	0	1	1	1	0	7
入所	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
移動	0	0	0	0	0	0	0	1	1	10	0	0	12
入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	0	1	1	2	1	1	1	1	2	11	1	1	23

※1月にアンスリール居宅・菊華園居宅間で介護支援専門員の異動があった為、10名移動による登録廃止となっている。

4 介護（予防）給付実績について

介護（予防）給付の請求実績は表の通り。

(表4-1) 市町村別請求件数（介護給付）

	白井市	印西市	船橋市	鎌ヶ谷市	その他	合 計
4月	21	0	1	1	0	23
5月	23	0	1	0	0	24
6月	24	0	1	0	0	25
7月	22	1	1	0	0	24
8月	22	2	1	0	0	25
9月	21	2	1	0	0	24
10月	21	1	1	0	0	24
11月	19	1	2	0	0	22
12月	18	1	2	0	0	21
1月	22	1	4	1	1	29
2月	23	0	4	1	1	29
3月	23	0	3	1	1	28
年間合計	259	9	22	4	3	297

(表4-2) 市町村別請求件数(予防給付)

	白井市	印西市	船橋市	鎌ヶ谷市	その他	合 計
4月	2	0	0	0	0	2
5月	2	0	0	0	0	2
6月	1	0	0	0	0	1
7月	1	0	0	0	0	1
8月	1	0	0	0	0	1
9月	1	0	0	0	0	1
10月	1	0	0	0	0	1
11月	1	0	0	0	0	1
12月	1	0	0	0	0	1
1月	2	0	0	0	0	2
2月	2	0	0	0	0	2
3月	2	0	0	0	0	2
年間合計	17	0	0	0	0	17

5 要介護区分内訳

全体数の推移は登録者に比例しているが、今年度は審査基準の厳密化が図られたためか、要介護認定を更新した方の介護度が下がる傾向があった。

(表5-1) 要介護区分別内訳(介護給付)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
4月	7	4	6	1	5	23
5月	7	4	7	2	4	24
6月	9	4	6	2	4	25
7月	9	4	6	1	4	24
8月	10	4	5	2	4	25
9月	8	5	5	2	4	24
10月	8	4	4	3	4	23
11月	6	3	5	4	4	22
12月	4	5	6	4	2	21
1月	5	12	9	1	2	29
2月	6	10	10	1	2	29
3月	6	10	8	1	3	28
年間合計	85	69	77	24	42	297
平均	7.1	5.8	6.4	2.0	3.5	24.8

(表5-2) 要介護区分別内訳(予防給付)

	要支援1	要支援2	合 計
4月	0	2	2
5月	0	2	2
6月	0	1	1
7月	0	1	1
8月	0	1	1
9月	0	1	1
10月	0	1	1
11月	0	1	1
12月	0	1	1
1月	1	1	2
2月	1	1	2
3月	1	1	2
年間合計	3	14	17
平均	0.3	1.2	1.4

6 利用サービスについて

居宅介護支援センター利用者の平均介護度は2.6であり、在宅で生活する後期高齢者の全国平均の2.2よりやや上回っているが、訪問介護と通所介護を併用しながら生活できる方が多くみられた。

また、そのうち神聖会のサービスを利用された方は表6-2の通り。

(表6-1)

	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	福祉用具	短期入所
4月	3	0	1	0	17	1	13	12
5月	4	0	1	0	17	1	15	12
6月	6	0	1	0	19	1	15	11
7月	4	0	1	0	17	1	13	11
8月	5	0	1	0	18	1	13	11
9月	5	0	1	0	18	1	13	10
10月	5	0	1	0	18	1	13	11
11月	7	0	2	0	16	1	13	8
12月	7	0	2	0	15	0	11	6
1月	5	1	2	0	20	2	16	11
2月	8	1	2	0	20	3	15	7
3月	5	1	1	0	19	3	16	8
合計	64	3	16	0	214	16	166	118
平均	5.3	0.3	1.3	0	17.8	1.3	13.8	9.8

(表6-2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
菊華園デイ	16	16	18	16	17	17	17	15	13	17	17	16	16.3
菊華園短期	9	8	7	6	7	7	9	6	4	6	3	5	6.4
アンス短期	0	1	2	3	2	1	0	1	2	3	3	2	1.67
合 計	25	25	27	25	26	25	26	22	19	26	23	23	24.33

7 介護認定調査について

平成26年度よりの開設であり、白井市との介護認定調査委託の契約は平成27年度からとなっている。

白井市において平成27年度は65歳以上の人口がおよそ1,000人増加する予測が立てられており、それに比例して新規申請者及び更新申請者の増加が見込まれているため、他市町村も含め次年度は調査件数も増えると思われる。

(表7) 市町村別認定調査件数

	白井市	県内他市	県外	合 計
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	0	0	0
10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	0	0	0	0
1月	0	2	0	2
2月	0	0	0	0
3月	0	1	1	2
年間合計	0	3	1	4

アンスリール保育園

1 利用実績について

(表1) 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳児	1	3	4	5	5	5	5	4	4	4	5	6
幼児	9	9	9	11	11	11	12	11	11	11	11	12
合計	10	12	13	16	16	16	17	15	15	15	16	18

(表2) 利用延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳児	10	28	45	69	69	56	63	44	40	40	73	85
幼児	98	101	78	112	135	98	112	87	110	123	96	113
合計	108	129	123	181	204	154	175	131	150	163	169	198

(表3) 月平均利用率(月平均10名定員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保育日数	21	22	21	23	21	22	23	20	23	22	20	21
平均	5.1	5.8	5.8	7.8	9.7	7	7.6	6.5	6.5	7.4	8.4	9.4

※ 乳児(0歳児) 、 幼児(1～5歳児)

2 年間行事

実施月	行事名	目的
毎月	お誕生会	大きくなった喜びや友達にお祝いしてもらう喜びを味わう。
	避難訓練	実際に起こったときに備え、避難経路や動きを把握する。
	身体測定	園児一人ひとりの成長を把握する。
4月	保育始め	進級した喜びを感じる。
5月	こどもの日の集い	こいのぼり製作を通して、健やかな成長を願う。
6月	歯みがき指導	虫歯予防デーを通して、歯の大切さを知る。
7月	プール開き(～8月下旬)	水に親しみ、夏の暑さを乗り切る。
	納涼祭	盆踊りや屋台など夏の風物詩を楽しむ。
9月	☆敬老の日の集い	長寿のお祝いの気持ちを込めプレゼント製作をする。
10月	運動会	様々な競技を通して仲間意識を持つこと、楽しさを感じてもらう。
	☆ハロウィンパーティー	仮装をして、ユニットめぐりを行う。
12月	クリスマス会	オペレッタや歌などの発表を通して、一つの物を作り上げる楽しさを知る。
	お餅つき	伝統行事を知り、実際に参加し楽しむ。
2月	豆まき	豆まきの意味を知り、伝統行事に触れていく。
3月	ひな祭り	製作活動を通して、健やかな成長を感じる。
	お楽しみ会	調理実習を通して、作る楽しさ、食べる楽しさを体感する。

※ ☆マークは、世代間交流とする。